

令和 6 年度 第 2 学年 シラバス



日本歯科大学東京短期大学

歯科技工学科

The Nippon Dental University College at Tokyo,
Department of Dental Technology

建 学 の 精 神

学校法人日本歯科大学建学の精神は「自主独立」であり、本学建学の目的を「心・技・体が調和した人間性豊かな歯科医療スペシャリストの育成」とする。

教 育 の 理 念

本学学則には、その目的を「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、歯科技工および歯科衛生に関する専門の知識と技術を教授研究し、豊かな教養と人格を備えた、高度な医療技術者を育成し、もって国民の保健医療の向上に寄与する。」と規定している。この目的を体として、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識、技術および倫理観など、学・術・道を兼ね備えた歯科技工士と歯科衛生士を養成する。

教 育 の 目 的

教育の理念を具現化するために、歯科技工学科では2年間、歯科衛生学科では3年間の在学期間中に、一般教養科目の充実を図って短大教育の特色を出し、専門科目については、歯科医療の基礎と臨床に関する最新の講義と基礎・臨床実習を行う。高度の専門知識と技術、応用的研究能力、さらに豊かな人間性を身に付けた歯科技工士・歯科衛生士の総合的な教育を行い、グローバルな視点を持ち、歯科医師とのチーム医療により、国民の歯科保健増進に総合的に寄与する人材を育成することを目的とする。

教 育 の 目 標

1. 幅広い教養と倫理観を持った歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
2. 人間性豊かで人の痛みが判る優しい歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
3. コミュニケーション能力が優れた歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
4. 歯科医学の最新の知識と技術を生涯学び続ける意欲と能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
5. 将来の良質な歯科医療の確立を目指し、応用的研究能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
6. 社会の要求とEBM（Evidence Based Medicine）を重んじた歯科医療に貢献する歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
7. 問題を見出し解決する能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
8. 地域医療に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
9. 健康増進に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
10. グローバルに活躍する歯科技工士・歯科衛生士を育成する。

アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「自主独立」の精神を理解し、基本理念と教育目標を達成するために、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人を求めています。

カリキュラムポリシー

歯科技工学科

1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成している。
2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目である。
3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を習得できる授業科目である。
4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を習得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を習得できる授業科目である。
5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図る。

学習成果

学校法人日本歯科大学全体としての建学の精神ならびに教育の目的に基づき、日本歯科大学東京短期大学の学生が卒業までに身につけるべき知識や資質、能力等を学習成果と定めている。

歯科技工学科

1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技術を身につける。
2. 医療における倫理観と豊かな人間性を身につける。
3. 自己研鑽に励み、専門職としての能力の維持向上を図る姿勢を身につける。
4. 相手を尊重した対応と良好な人間関係を構築するコミュニケーション能力を身につける。

ディプロマポリシー

歯科技工学科

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士（歯科技工）の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

歯科技工士課程

項 目 授業科目		基礎分野				専門基礎分野				専門分野				カリキュラムポリシー										ディプロマポリシー			
		人科間学 的・社会的 生活の基 礎	歯科技工 と歯科技 術	歯・口 腔の機 能と機 能	歯科材 料・歯 科工 具機 器と加 工技 術	有 限 歯 療 技 工 学	歯 冠 修 復 技 工 学	矯 正 歯 科 技 工 学	小 児 歯 科 技 工 学	歯 科 工 学 実 習	習得した基礎 的・専門的知識 を応用し、社会 的・経済的・文 化的・環境的・ 倫理的・法的・ 政治的・教育的 ・国際的・情報 的・科学的・技 術的・芸術的・ スポーツ・健康 ・安全・福祉・ ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報・ ・科学・技術・ ・芸術・スポーツ ・健康・安全・ ・福祉・環境・ ・社会・文化・ ・経済・政治・ ・教育・国際・ ・情報・科学・ ・技術・芸術・ ・スポーツ・健 康・安全・福祉 ・環境・社会・ ・文化・経済・ ・政治・教育・ ・国際・情報																

総目次

本書の使い方.....	1
令和6年度教務予定表.....	2
前学期授業科目.....	5
後学期授業科目.....	41
特別期授業科目.....	73

本書の使い方

本書は、日本歯科大学東京短期大学歯科技工学科の学生のみなさんが、履修すべき授業や実習の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に参加する意欲を起し、勉学の習慣を培うために作成しました。

各授業と実習を系統的に理解できるように下記にまとめてありますので、有効に活用して下さい。なお、国家試験の対象科目においては、「ユニット番号：名/学習目標(GIO)欄」に、そのユニットの内容が該当する国家試験出題基準の大項目・中項目などが記載されていますので、参考にして下さい。

記

- 1)受講に先だって、事前に該当授業と実習内容に目を通しておくこと
- 2)受講の際は、本書を必ず持参して、必要に応じてチェックすること
- 3)やむを得ず欠席した場合には、該当科目のページを確認しておくこと
- 4)休講などの場合には、該当科目の変更などを確認しておくこと
- 5)予習と復習の指針とすること
- 6)試験に際しては、試験範囲などの系統的な自学自習の指針とすること

令和6年度 教務予定表

月	日(曜)	事 項
4	3(水)	入学式
	4(木)	技工学科第1学年・衛生学科第1学年 前学期オリエンテーション [5日(金)まで] 技工学科第2学年 前学期 オリエンテーション, 衛生学科第2学年 前学期 オリエンテーション・前学期授業開始 衛生学科第3学年 前学期 オリエンテーション・臨床・臨地実習再開 [7月26日(金)まで] 専攻科歯科技工学専攻 第1学年 前学期オリエンテーション 専攻科歯科衛生学専攻 前学期オリエンテーション [5日(金)まで]
	5(金)	専攻科歯科技工学専攻 第1学年 前学期授業開始 専攻科歯科技工学専攻第2学年 前学期オリエンテーション・前学期授業開始
	6(土)	生命歯学部・東京短大合同新入生歓迎会(予定)
	8(月)	技工学科第1学年・衛生学科第1学年 前学期授業開始 専攻科歯科衛生学専攻 前学期授業開始 衛生学科第3学年 前学期授業開始 [7月12日(金)まで]
	下旬	技工学科第2学年 登院式
	27(土)	合同合宿・クラブ活動週間 [29日(月)まで]
	30(火)	休講[5月2日(火)まで]
5	24(金)	学生健康診断(専攻科を除き休講)
6	1(土)	日本歯科大学創立記念日
	上旬	衛生学科第2学年 全国小学生歯みがき大会
	8(土)	衛生学科第2学年 歯と口の健康週間事業
	7(金)	技工学科第1学年 前学期試験 [6月11日(火)・9月12日(木)]
	14(金)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 前学期試験 [6月18日(火)・20日(木)・25日(火)・27日(木)]
	20(木)	技工学科第1学年 前学期追再試験 [6月27日(木)・9月19日(木)]
	下旬	専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援学位授与機構 特例による学位授与申請(予定)
7	上旬	短期大学交流会
	5(金)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 前学期追再試験 [7月10日(水)・12日(金)・17日(水)・19日(金)]
	19(金)	技工学科第2学年 就職ガイダンス
	22(月)	技工学科第2学年 進学ガイダンス 衛生学科第1学年 前学期試験 [26日(金)まで] 衛生学科第2学年 前学期試験 [26日(金)まで]
	24(水)	専攻科歯科技工学専攻第2学年 夏期休暇 [8月28日(水)まで]
	26(金)	技工学科第1学年 夏期休暇 [8月30日(金)まで]
	29(月)	技工学科第2学年 夏期休暇 [8月23日(金)まで]
	29(月)	衛生学科第3学年 前学期試験 [31日(水)まで]
	30(火)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 夏期休暇 [8月28日(水)まで]
	下旬	技工学科第2学年 企業見学会
8	5(月)	衛生学科第1学年 前学期追再試験 [9日(金)まで] 衛生学科第2学年 前学期追再試験 [9日(金)まで] 衛生学科第3学年 前学期追再試験 [7日(水)まで]
	8(木)	衛生学科第3学年 夏期休暇 [23日(金)まで]
	13(火)	衛生学科第1学年 夏期休暇 [9月27日(金)まで] 衛生学科第2学年 夏期休暇 [9月18日(水)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 夏期休暇 [30日(金)まで]
	26(月)	技工学科第2学年 授業再開 [9月6日(金)まで] 衛生学科第3学年 臨床臨地実習開始(総合病院)[9月27日(金)まで]
	29(木)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 授業再開 [9月13日(金)まで] 専攻科歯科技工学専攻第2学年 授業再開 [9月20日(金)まで]
9	2(月)	技工学科第1学年 授業再開 [9月27日(金)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 授業再開 [2日(月)まで]
	3(火)	専攻科歯科衛生学専攻 前学期試験 [4日(水)まで]
	9(月)	技工学科第2学年 前学期試験 [10日(火)まで]
	9(月)	専攻科歯科衛生学専攻 前学期追再試験 [10日(火)まで]
	17(火)	技工学科第2学年 前学期追再試験 [18日(水)まで]
	19(木)	衛生学科第2学年 授業再開 [20日(金)まで]
	24(火)	衛生学科第2学年 臨床・臨地実習オリエンテーション [30日(月)まで]
	26(木)	衛生学科第2学年 登院式
	30(月)	衛生学科第1学年 後学期オリエンテーション 衛生学科第3学年 後学期オリエンテーション
	下旬	専攻科歯科技工学専攻第2学年・専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構学習成果の提出締切

月	日(曜)	事 項
10	1(火)	技工学科第1, 2学年 後学期オリエンテーション・後学期授業開始, 衛生学科第1学年 後学期授業開始 衛生学科第2学年 後学期オリエンテーション・後学期授業開始, 衛生学科第3学年 後学期授業開始 専攻科歯科技工学専攻第1学年 後学期オリエンテーション・授業開始 専攻科歯科技工学専攻第2学年 後学期オリエンテーション・後学期授業開始 専攻科歯科衛生学専攻 後学期オリエンテーション[2日(水)まで]
	2(水)	衛生学科第2学年 臨床・臨地実習開始 [2月21日(金)まで]
	3(木)	専攻科歯科衛生学専攻 後学期授業開始
	26(土)	富士見祭 [27日(日)まで]
	17(木)	技工学科第1学年 後学期試験 [12月2日(月)・12月16日(月)・2月4日(火)・2月5日(水)]
	31(木)	技工学科第1学年 後学期追再試験[12月9日(月)・12月23日(月)・2月12日(水)・2月13日(木)]
	下旬	衛生学科第2学年 上級救命講習
11	未定	専攻科歯科衛生学専攻 目黒区立第十一中学校保健指導
	22(金)	衛生学科第3学年 文京区立茗台中学校集団指導
	29(金)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 後学期試験 [1月24日(金)]
12	12(木)	技工学科第2学年 後学期試験 [13日(金)まで]
	16(月)	衛生学科第3学年 後学期試験 [17日(火)まで]
	未定	専攻科歯科技工学専攻第2学年・専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構実施小論文試験
	19(木)	技工学科第2学年 後学期追再試験 [20日(金)まで] 衛生学科第3学年 後学期追再試験 [23日(月)まで]
	20(金)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 後学期追再試験 [1月31日(金)]
	23(月)	技工学科第2学年 冬期休暇 [1月7日(火)まで] 専攻科歯科技工学専攻第1, 2学年 冬期休暇 [1月7日(火)まで]
	24(火)	技工学科第1学年 冬期休暇 [1月7日(火)まで] 衛生学科第1, 3学年 冬期休暇 [1月3日(金)まで]
	26(木)	専攻科歯科衛生学専攻 冬期休暇 [1月3日(金)まで]
	30(月)	衛生学科第2学年 冬期休暇 [1月3日(金)まで]
1	6(月)	衛生学科第1学年 授業再開 [24日(金)まで], 衛生学科第2学年 授業再開 [28日(火)まで] 衛生学科第3学年 授業再開 [3月上旬まで], 専攻科歯科衛生学専攻 授業再開 [2月28日(金)まで]
	8(水)	技工学科第1学年 授業再開 [2月3日(月)まで], 技工学科第2学年 授業再開 [2月中旬まで] 専攻科歯科技工学専攻第1学年 授業再開 [2月19日(水)まで] 専攻科歯科技工学専攻第2学年 授業再開 [2月10日(月)まで] 衛生学科第2学年 臨床・臨地実習再開 [2月21日(金)まで]
	20(月)	技工学科第2学年 第1回統合科目試験
	23(木)	専攻科歯科衛生学専攻 後学期試験 [24日(金)まで]
	下旬	衛生学科第3学年 第1回総論科目試験
	30(木)	衛生学科第1学年 後学期試験 [2月10日(月)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 後学期追再試験 [31日(金)まで]
	31(水)	技工学科第2学年 第2回統合科目試験
2	上旬	専攻科歯科衛生学専攻 研究成果発表会
	3(月)	衛生学科第2学年 後学期試験 [5日(水)まで]
	7(金)	衛生学科第2学年 後学期追再試験 [12日(水)まで]
	上旬	技工学科第1学年 上級救命講習
	中旬	技工学科第2学年 歯科技工士国家試験
	中旬	衛生学科第3学年 第2回総論科目試験
	10(月)	専攻科歯科技工学専攻第2学年 特別研究応用 研究成果発表会
	14(金)	技工学科第1学年 春期休暇開始
	17(月)	衛生学科第1学年 後学期追再試験 [26日(水)まで]
	20(木)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 春期休暇開始
	24(月)	衛生学科第2学年 春期休暇開始
	27(木)	衛生学科第1学年 春期休暇開始
	下旬	専攻科歯科技工学専攻第2学年・専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構実施審査結果通知
3	上旬	衛生学科第3学年 歯科衛生士国家試験
	上旬	学位記授与式(卒業式・修了式)
	下旬	技工学科第2学年・衛生学科第3学年 国家試験合格発表

歯科技工学科 第2学年 前学期授業科目

歯冠修復技工学応用	7
有床義歯技工学応用	10
歯科技工実習	13
小児歯科技工学実習	15
矯正歯科技工学実習	17
有床義歯技工学実習応用	19
歯冠修復技工学実習応用	22
歯科理工学応用	25
歯及び口腔解剖学応用	28
歯及び口腔解剖学実習応用	30
矯正歯科技工学総合	33
顎口腔機能学総合	35
小児歯科技工学総合	37
関係法規総合	39

令和6年度 歯科技工学科 第2学年 前学期授業時間表

時 限	1	2	3	4
時間	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
曜日				
月	歯冠修復技工学応用 （ 雲 野 ）	有床義歯技工学応用 （ 小 泉 ）	歯科技工実習 （ 雲 野 ）	
火	小児歯科技工学実習 （ 茂 原 ） ----- 矯正歯科技工学実習 （ 宇都宮 ）		歯科技工実習 （ 雲 野 ）	
水	有床義歯技工学実習応用 （ 宇都宮 ）		歯科技工実習 （ 雲 野 ）	
木	歯冠修復技工学実習応用 （ 雲 野 ）		歯科技工実習 （ 雲 野 ）	
金	歯科理工学応用 （ 富 田 ）	歯及び口腔解剖学 応用 （ 赤 間 ） ----- 歯及び口腔解剖学 実習応用 （ 赤 間 ）	歯科技工実習 （ 雲 野 ）	

- 1) 授業期間：4月 4日 (木) ～ 9月 6日 (金)
 - 2) 夏期休暇：7月29日 (月) ～ 8月23日 (金)
 - 3) 前学期定期試験：9月 9日 (月) ～ 9月10日 (火)
 - 4) 前学期追再試験：9月17日 (火) ～ 9月18日 (水)
 - 5) 小児歯科技工学実習・矯正歯科技工学実習は隔週で授業を行う。
 - 6) 歯及び口腔解剖学応用・歯及び口腔解剖学実習応用は隔週で授業を行う。
- *感染症等の拡大状況によってはオンライン授業となる場合もあります。

本学期的学習目標(GIO)

歯冠や歯の欠損を回復するために、歯冠修復技工学の基礎的事項と臨床的事項を理解する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- | | |
|---|--|
| ○ | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。 |
| | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 |

カリキュラムポリシー

- | | |
|---|---|
| ○ | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。 |
| | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。 |
| | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。 |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	月	9:00-10:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

雲野泰史

成績評価

定期・追再試験それぞれの評価は、択一選択式試験問題の正答率に基づくものとする(100%)。

準備学習（予習・復習）

項目ごとの資料と練習問題を配付しますので、内容の確認と問題を解いて理解し、キーワードを覚えるようにしましょう。授業で行った学習項目を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/8	月	雲野泰史	ユニット1: 歯冠修復技工学の意義と目的/歯冠修復物の要件-生物学的要件 (技国 1-A, E) GIO: 歯冠修復物の目的と生物学的要件を身につけるために、履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1) 歯冠修復技工学の意義と目的を述べる。 2) 生物学的要件を説明する。 3) 歯冠修復技工学の履修内容を列記する。
2	4/15	月	雲野泰史	ユニット2: 構造力学的・化学的・審美的要件 (技国 1-E) GIO: クラウン・ブリッジの具備要件である構造力学的・化学的・審美的要件を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1) 構造力学的要件を説明する。 2) 化学的要件を説明する。 3) 審美的要件を説明する。
3	4/22	月	雲野泰史	ユニット3: 印象採得, 印象用トレー (技国 2-B) GIO: 印象採得と印象用トレーを理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) 印象材の種類と特徴を列挙する。 2) 印象方法を説明する。 3) 印象用トレーの種類と目的を説明する。 4) 印象用トレーの製作法を説明する。
4	5/13	月	雲野泰史	ユニット4: プロビジョナルクラウン, 作業用模型 (技国 2-D) GIO: プロビジョナルクラウンの意義, 目的および作業用模型を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) プロビジョナルクラウンの意義と目的を説明する。 2) プロビジョナルクラウンの種類と使用材料を列挙する。 3) プロビジョナルクラウンの製作法を説明する。 4) 作業用模型の意義と目的を説明する。 5) 作業用模型の構成と要件を列挙する。 6) 作業用模型の種類を列挙する。
5	5/20	月	雲野泰史	ユニット5: 模擬試験1 解答・解説 (技国 1~2) GIO: 前回までの学習内容を身につけるために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) 前回までの学習内容を具体的に述べる。
6	5/27	月	雲野泰史	ユニット6: トリミング, 辺縁形態, 咬合器装着 (技国 2-F, G) GIO: 歯型のトリミング, 歯冠修復物に適應される辺縁形態, 咬合器装着を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) トリミングの目的を具体的に述べる。 2) 歯型の辺縁形態を説明する。 3) 咬合器への装着を述べる。
7	6/3	月	雲野泰史	ユニット7: 支台築造, 研究用模型 (技国 2-C) GIO: 支台築造の意義, 目的, 使用材料や製作法, 研究用模型の目的を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) 支台築造の意義と目的を説明する。 2) 支台築造の種類と使用材料を列挙する。 3) 支台築造の製作法を説明する。 4) 研究用模型の目的を列挙する。
8	6/10	月	雲野泰史	ユニット8: ワックスパターン形成 (技国 2-I) GIO: ワックスパターン形成の種類と方法を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) ワックスパターン形成の種類を列挙する。 2) ワックスパターン形成の方法を説明する。
9	6/17	月	雲野泰史	ユニット9: 埋没, 連結法, 鋳造 (技国 2-J~L) GIO: スプルー線の植立位置, 埋没, 連結法および鋳造操作を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) スプルー線の植立位置を述べる。 2) 埋没方法を列挙する。 3) ライニング材の目的を説明する。 4) 連結方法を具体的に述べる。 5) 鋳造方法を比較する。
10	6/24	月	雲野泰史	ユニット10: 調整, 研磨, 試適・仮着 (技国 2-M~O) GIO: 修復物の調整, 研磨の目的・方法, 試適・仮着を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) 修復物の調整を具体的に説明する。 2) 研磨の目的を具体的に述べる。 3) 研磨方法を列挙する。 4) 試適の方法を説明する。 5) 仮着時の注意点を述べる。
11	7/1	月	雲野泰史	ユニット11: 全部被覆冠, 部分被覆冠 (技国 1-C~F) GIO: 全部被覆冠, 各種部分被覆冠の概要とその特徴を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) 全部被覆冠の種類を列挙する。 2) 全部被覆冠の特徴を説明する。 3) 部分被覆冠の種類を列挙する。 4) 部分被覆冠の特徴を説明する。
12	7/8	月	雲野泰史	ユニット12: 模擬試験2 解答・解説 (技国 1~2) GIO: 前回までの学習内容を身につけるために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1) 前回までの学習内容を具体的に述べる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	7/22	月	雲野泰史	ユニット13:インプラント, CAD/CAMシステム (技国 1-A~C,2-R) GIO:インプラントの概要・種類・固定方法を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を知る. CAD/CAMシステムの概要を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を知る.	1)インプラントの概要を説明する. 2)インプラントの種類を列挙する. 3)インプラントの固定方法を述べる. 4)CAD/CAMシステムの概要を説明する.
14	8/26	月	雲野泰史	ユニット14:レジン前装冠, シェードマッチング (技国 1-P) GIO:前装部の特徴・製作法, シェードマッチングを理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を知る.	1)レジン前装冠の特徴を説明する. 2)レジン前装冠の製作法を述べる. 3)シェードマッチングを具体的に述べる.
15	9/2	月	雲野泰史	ユニット15:インレー (技国 1-F) GIO:インレー修復の意義, 特徴, 適応用途, 窩洞形態と構成要素を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を知る.	1)インレーの意義を具体的に述べる. 2)インレーの特徴を説明する. 3)インレーの適応用途を述べる. 4)窩洞形態を説明する. 5)窩洞の構成要素を列挙する.

本学期的学習目標(GIO)

歯の喪失によって失われた咀嚼系の形態と機能の回復を理解するために、全部床義歯による補綴治療、部分床義歯による補綴治療の臨床術式と技工操作に必要な基本的な知識を習得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- | | |
|---|--|
| ○ | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。 |
| | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 |

カリキュラムポリシー

- | | |
|---|---|
| ○ | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。 |
| | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。 |
| | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。 |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	月	10:35-11:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

小泉順一

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習(予習・復習)

有床義歯技工学基礎の履修内容を授業の前に復習して、より理解度を高めていきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/8	月	小泉順一	ユニット1:問題集①全部床義歯の特性と無歯顎 (技国 1-A~F) GIO:全部床義歯の特性と無歯顎の特徴を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
2	4/15	月	小泉順一	ユニット2:問題集②全部床義歯の製作順序 (技国 2-A~N) GIO:全部床義歯の製作順序を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
3	4/22	月	小泉順一	ユニット3:問題集③全部床義歯の印象採得に伴う 技工操作(技国 2-A~C) GIO:全部床義歯の印象採得に伴う技工操作を身につけるために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
4	5/13	月	小泉順一	ユニット4:問題集④全部床義歯の咬合採得に伴う 技工操作(技国 2-C~E) GIO:全部床義歯の咬合採得に伴う技工操作を身につけるために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
5	5/20	月	小泉順一	ユニット5:模擬試験1 解答・解説 (技国 1~5) GIO:有床義歯技工学の履修内容を理解するために、模擬試験1の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1)模擬試験1を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
6	5/27	月	小泉順一	ユニット6:問題集⑤全部床義歯の人工歯排列と 歯肉形成(技国 2-H, I) GIO:全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
7	6/3	月	小泉順一	ユニット7:問題集⑥全部床義歯の埋没と重合 (技国 2-J, K) GIO:全部床義歯の埋没と重合を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
8	6/10	月	小泉順一	ユニット8:問題集⑦全部床義歯の咬合器再装着、 削合および研磨(技国 2-L~N) GIO:全部床義歯の咬合器再装着、削合および研磨を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
9	6/17	月	小泉順一	ユニット9:問題集⑧ライン、リベースおよび修理 (技国 4-A) GIO:ライン、リベースおよび修理を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
10	6/24	月	小泉順一	ユニット10:問題集⑨金属床義歯、即時義歯 およびその他(技国 5-A~D) GIO:金属床義歯、即時義歯を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
11	7/1	月	小泉順一	ユニット11:問題集⑩部分床義歯技工学概説 (技国 1-F, G) GIO:部分床義歯技工学概説を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
12	7/8	月	小泉順一	ユニット12:模擬試験2 解答・解説 (技国 1~5) GIO:有床義歯技工学の履修内容を理解するために、模擬試験2の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1)模擬試験2を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	7/22	月	小泉順一	ユニット13:問題集⑪部分床義歯の構成要素 (技国 3-G~K) GIO:部分床義歯の構成要素を理解するために、 問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
14	8/26	月	小泉順一	ユニット14:問題集⑫部分床義歯の印象採得に 伴う技工操作(技国 3-A~C) GIO:部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を身 につけるために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
15	9/2	月	小泉順一	ユニット15:問題集⑬部分床義歯の咬合採得に 伴う技工操作(技国 3-D~F) GIO:部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作を身 につけるために、問題集の該当部分を修得する。	1)問題集を使用し、履修内容を分類する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。

本学期的学習目標（GIO）

歯科技工の概念と口腔の機能・疾患等の概要を把握し、歯科技工士の役割、業務内容、歯科技工業務を円滑に行うために配慮された作業環境および今後の展望を知るために必要な知識・技能について修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士（歯科技工）の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- | | |
|---|--|
| ○ | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。 |
| | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 |

カリキュラムポリシー

- | | |
|---|---|
| ○ | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。 |
| | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。 |
| | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。 |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	月～金	13:00～15:55	短大 5階 実習室 他

教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
	配付資料		

担当者一覧

雲野泰史・宇都宮宏充

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の配布資料を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時：実習後15分

場所：短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 5 165	4/4 5 9/6	月 5 金	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット1～165: 歯科技工実習	1) 作業用模型製作を実施する。 2) 全部床義歯製作を行う。 3) 部分床義歯製作を行う。 4) 歯冠修復物製作を実施する。 5) 自己の平行模型製作を行う。 6) 咬合誘導装置の製作を行う。 7) 診療を見学して歯科治療の流れを説明する。 8) 個人トレーの製作を行う。 9) 咬合床の製作を行う。 10) マウスガードの製作を行う。 11) 補綴物を仕上げる。
				GIO: 適切な歯科技工物製作を行うために、技工操作の基本術式を身につける。	

本学期的学習目標（GIO）

小児歯科医療において適切な咬合誘導を図るために、保隙装置とスペースリグザーの製作方法について修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	火	9:00-11:55	短大 5階 実習室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

茂原宏美・宇都宮宏充・雲野泰史

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の教科書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。
実習内容を理解し、意義や製作手順を覚えましょう。

オフィスアワー

日時: 実習後15分 場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 2	4/9	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット1:クラウンループの製作1 ユニット2:クラウンループの製作2 (技国 4-A～C) GIO:保隙装置の目的を理解するために、クラウンループの製作方法を修得する。	1)小児歯科技工学の目的を説明する。 2)クラウンループの目的を説明する。 3)クラウンループの製作方法を説明する。 4)印象採得に必要な器材を準備する。 5)咬合器装着を実施する。
3 4	4/23	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット3:クラウンループの製作3 ユニット4:クラウンループの製作4 (技国 4-C) GIO:クラウンループを製作するために、ループ外形線の設計方法、屈曲方法を身につける。	1)ループ外形線の設計法を説明する。 2)ループ屈曲に必要な器材を準備する。 3)ループ屈曲時の注意点を説明する。 4)ループの屈曲を実施する。
5 6	5/14	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット5:クラウンループの製作5(技国 4-C) ユニット6:ディスタルシューの演習(技国 4-C) GIO:クラウンループを製作するために、ろう付け法を身につける。また、ディスタルシューの目的を知るために、デモンストレーションを見学し、製作方法を修得する。	1)ループと乳歯冠のろう付けを実施する。 2)ろう付け部の形態修正を実施する。 3)ディスタルシューの特徴を説明する。 4)ディスタルシュー製作時の注意点を説明する。
7 8	5/28	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット7:クラウンループの製作6 (技国 4-C) ユニット8:スペースリゲーナーの製作1 (技国 4-D) GIO:クラウンループを完成させるために、研磨法を修得する。また、スペースリゲーナーの目的を理解するために、製作方法を修得する。	1)ろう付け部の研磨を実施する。 2)クラウンループを仕上げる。 3)スペースリゲーナーの製作方法を説明する。 4)スペースリゲーナーの製作上の注意点を説明する。
9 10	6/11	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット9:スペースリゲーナーの製作2 ユニット10:スペースリゲーナーの製作3 (技国 4-D, F) GIO:スペースリゲーナーを製作するために、床外形線の設計方法と維持装置の製作方法を修得する。	1)スペースリゲーナーの床外形線を設計する。 2)アダムスのクラスプの特徴を説明する。 3)シュワルツのクラスプの特徴を説明する。
11 12	6/25	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット11:スペースリゲーナーの製作4 ユニット12:スペースリゲーナーの製作5 (技国 4-D, F) GIO:スペースリゲーナーの製作を行うために、維持装置の屈曲を実施し、維持装置の製作方法を身につける。	1)維持装置屈曲に必要な器材を準備する。 2)維持装置屈曲時の注意点を説明する。 3)拡大ネジの取扱いについて説明する。
13 14	7/9	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット13:スペースリゲーナーの製作6 ユニット14:スペースリゲーナーの製作7 (技国 4-D) GIO:スペースリゲーナーの製作を行うために、矯正用レジンを追加し、床部の製作方法を修得する。	1)矯正用レジン添加に必要な器材を準備する。 2)矯正用レジンの取扱いについて説明する。 3)矯正用レジンの添加と重合を実施する。 4)床部の形態修正の注意点を説明する。 5)床部の形態修正を実施する。
15	7/23	火	茂原宏美 宇都宮宏充 雲野泰史 (9:00-10:20)	ユニット15:スペースリゲーナーの製作8 (技国 4-D) GIO:スペースリゲーナーの製作を行うために、床部の形態修正と研磨方法を身につける。	1)床部の形態修正に必要な器材を準備する。 2)床部の研磨の注意点を説明する。 3)床部の形態修正と研磨を実施する。 4)スペースリゲーナーを仕上げる。

本学期的学習目標(GIO)

矯正歯科治療において適切な装置を製作するために、基本的手技を理解し、動的・静的矯正装置の製作方法を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- | | |
|---|--|
| ○ | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。 |
| | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 |

カリキュラムポリシー

- | | |
|---|---|
| ○ | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。 |
| | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。 |
| | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。 |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	火	9:00-11:55	短大 5階 実習室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

宇都宮宏充・雲野泰史

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習(予習・復習)

授業範囲の内容を事前に把握し、手順について確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:実習後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 2	4/16	火	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット1: ガイダンス ユニット2: 実習講義 線屈曲1(技国1-A, 3-F) GIO: 矯正歯科技工学実習を行うために、意義、目的、特徴および学習方法を理解する。矯正装置製作時の注意点を知らるために、線屈曲を身につける。	1) 矯正歯科治療の意義、目的、特徴を説明する。 2) 矯正歯科技工学の意義、目的、特徴を説明する。 3) 線屈曲に必要な器材を準備する。 4) 各種屈曲用プライヤーの特徴を説明する。
3 4	5/7	火	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット3: 線屈曲2 ユニット4: 実習講義 自在ろう付け1 (技国1-A, 3-F) GIO: 動的矯正装置を製作するために、自在ろう付けと線屈曲の基本的な手技を身につける。	1) 線屈曲に必要な器材を準備する。 2) 線屈曲を実施する。 3) 自在ろう付けに必要な器材を準備する。 4) 自在ろう付けの方法を説明する。
5 6	5/21	火	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット5: 自在ろう付け2・線屈曲3 ユニット6: 自在ろう付け3・線屈曲4 (技国1-A, 3-F) GIO: 動的矯正装置を製作するために、自在ろう付けと線屈曲の基本的な手技を身につける。	1) 自在ろう付けに必要な器材を準備する。 2) 自在ろう付けの特徴を説明する。 3) ろう付け後の処理について説明する。
7 8	6/4	火	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット7: 自在ろう付け4・線屈曲5 ユニット8: 演習 舌側弧線装置 (技国1-A, 3-F, 5-A) GIO: 動的矯正装置を製作するために、自在ろう付けと線屈曲の基本手技を修得する。舌側弧線装置の特徴を知らるために、製作方法を修得する。	1) ろう付け部の研磨を行う。 2) 自在ろう付けと線屈曲を仕上げる。 3) 舌側弧線装置の製作方法を説明する。 4) 舌側弧線装置の製作上の注意点を説明する。 5) 舌側弧線装置の特徴を説明する。
9 10	6/18	火	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット9: 実習講義 保定装置 ユニット10: 保定装置の製作1 (技国 5-B) GIO: 保定装置の目的と特徴を理解するために、ホーレーの保定装置の床外形線、唇側線および単純鉤の外形線の設計法を身につける。	1) ホーレーの保定装置製作時の注意点を説明する。 2) ホーレーの保定装置の床外形線を設定する。 3) 接歯唇側線屈曲に必要な器材を準備する。 4) 接歯唇側線の屈曲法を説明する。
11 12	7/2	火	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット11: 保定装置の製作2 ユニット12: 保定装置の製作3 (技国 5-B) GIO: ホーレーの保定装置を製作するために、接歯唇側線と単純鉤の屈曲法を修得する。	1) 接歯唇側線屈曲に必要な器材を準備する。 2) 切歯に接する部分の屈曲を行う。 3) ループ部の屈曲を行う。 4) 単純鉤の屈曲を行う。
13 14	7/16	火	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット13: 保定装置の製作4 ユニット14: 保定装置の製作5 (技国 5-B) GIO: ホーレーの保定装置を製作するために、矯正用レジンを用いて床部の形成と重合法を身につける。	1) 矯正用レジンの取扱い方法を説明する。 2) レジン分離材の目的を説明する。 3) 接歯唇側線の固定を行う。 4) 単純鉤の固定を行う。 5) 矯正用レジンの添加を実施する。
15	7/23	火	宇都宮宏充 雲野泰史 (10:35-11:55)	ユニット15: 保定装置の製作6 (技国 5-B) GIO: ホーレーの保定装置を製作するために、床部の研磨法を修得する。	1) 床部研磨に必要な器材を準備する。 2) 床部の形態修正における注意点を説明する。 3) 床部の研磨を実施する。 4) 仕上げ研磨を行う。

有床義歯技工学実習応用 水曜日 9:00~11:55

本学期的学習目標（GIO）

失われた諸機能と顔貌を回復し、患者の健康を維持、増進するために、少数歯から多数歯にわたる欠損状態を、全部床義歯・部分床義歯の製作を通して修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	水	9:00-11:55	短大 5階 実習室

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

宇都宮宏充・雲野泰史

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の内容を事前に把握し、手順について確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時: 実習後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 2	4/10	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット1:咬合器装着 ユニット2:人工歯排列 (技国 2-E~H) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)スプリットキャストを製作する。 2)咬合器装着を実施する。 3)人工歯排列の基準を述べる。 4)人工歯排列を実施する。
3 4	4/17	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット3:歯肉形成・削合 ユニット4:外形線の記入・ブロックアウト・リリーフ (技国 2-I, 5-A) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)歯肉形成の注意点について述べる。 2)歯肉形成を実施する。 3)人工歯の削合を実施する。 4)金属床の外形線の記入を実施する。 5)ブロックアウトを実施する。 6)リリーフを実施する。
5 6	4/24	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット5:耐火模型の製作 ユニット6:ワックスパターン形成 (技国 5-A) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)耐火模型の製作方法について説明する。 2)耐火模型の製作を実施する。 3)ワックスパターンの形成手順を説明する。 4)ワックスパターン形成を実施する。
7 8	5/8	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット7:ワックスパターン形成 ユニット8:スプルーイング・埋没 (技国 5-A) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)ワックスパターン形成を実施する。 2)スプルーイングの方法を説明する。 3)スプルーイングを実施する。 4)耐火模型の埋没方法を説明する。 5)耐火模型の埋没を実施する。
9 10	5/22	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット9:鑄造・掘り出し・スプルーカット ユニット10:形態修正 (技国 5-A) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)鑄造体の掘り出し方法を説明する。 2)鑄造体の掘り出しを実施する。 3)スプルーカットの方法を述べる。 4)スプルーカットを実施する。 5)形態修正の方法について述べる。 6)形態修正を実施する。
11 12	5/29	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット11:金属床の研磨1 ユニット12:金属床の研磨2 (技国 5-A) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)金属床の研磨方法を説明する。 2)金属床の研磨を実施する。
13 14	6/5	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット13:人工歯排列の準備 ユニット14:人工歯排列 (技国 2-H, 5-A) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)咬合堤の目的を述べる。 2)咬合堤の製作方法を説明する。 3)咬合堤の製作を実施する。 4)人工歯排列を実施する。
15 16	6/12	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット15:歯肉形成・削合 ユニット16:シリコーンコアの製作 (技国 2-K) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)歯肉形成の注意点について述べる。 2)歯肉形成を実施する。 3)シリコーンコアの製作方法を説明する。 4)シリコーンコアの製作を実施する。
17 18	6/19	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット17:脱ろう・レジンの流し込み ユニット18:削合・形態修正 (技国 2-K~M) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)脱ろうの方法を説明する。 2)脱ろうを実施する。 3)レジンの流し込み方法を述べる。 4)レジンの流し込みを実施する。 5)人工歯の削合を実施する。 6)義歯床の形態修正を実施する。
19 20	6/26	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット19:研磨1 ユニット20:研磨2 (技国 2-N) GIO:金属床の製作方法を修得するために、製作手順を理解し、金属床義歯の製作を実施する。	1)義歯の研磨方法を説明する。 2)義歯の研磨を実施する。 3)完成した金属床義歯を提出する。
21 22	7/10	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット21:前歯部人工歯排列① ユニット22:人工歯排列修正 (技国 2-H) GIO:規定された時間の中で前歯部人工歯排列を終了するために、段階的にその技術を修得する。	1)前歯部人工歯排列を実施する。 2)チェック項目を列記する。 3)人工歯排列の修正を実施する。
23 24	7/17	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット23:臼歯部人工歯排列 ユニット24:人工歯排列修正 (技国 2-H) GIO:規定された時間の中で臼歯部人工歯排列を終了するために、段階的にその技術を修得する。	1)臼歯部人工歯排列を実施する。 2)チェック項目を列記する。 3)人工歯排列の修正を実施する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
25 26	7/24	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット25:前歯部人工歯排列② ユニット26:人工歯排列修正 (技国 2-H) GIO:規定された時間の中で前歯部人工歯排列を終了するために、段階的にその技術を修得する。	1)前歯部人工歯排列を実施する。 2)チェック項目を列記する。 3)人工歯排列の修正を実施する。
27 28	8/28	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット27:臼歯部人工歯排列 ユニット28:人工歯排列修正 (技国 2-H) GIO:規定された時間の中で臼歯部人工歯排列を終了するために、段階的にその技術を修得する。	1)臼歯部人工歯排列を実施する。 2)チェック項目を列記する。 3)人工歯排列の修正を実施する。
29 30	9/4	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット29:全部床義歯人工歯排列③120分 ユニット30:人工歯排列チェック・修正 (技国 2-H) GIO:規定された時間の中で人工歯排列を終了するために、段階的にその技術を修得する。 また、未完成の部分を修正し、理解する。	1)規定時間で人工歯排列を終了する。 2)チェック項目を列記する。 3)人工歯排列の修正を実施する。

歯冠修復技工学実習応用 木曜日 9:00~11:55

本学期的学習目標（GIO）

歯冠修復物に求められる顎口腔系の機能・審美性を回復するために、講義から得た知識に基づき、歯冠修復物の製作技術を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	木	9:00-11:55	短大 5階 実習室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

雲野泰史・宇都宮宏充

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の内容を事前に把握し、手順について確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時: 実習後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 2	4/4	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット1:作業用模型製作(1) 基底面のトリミング ユニット2:作業用模型製作(2) 台付け (技国 2-F) GIO:陶材焼付金属冠の製作法を修得するために、作業用模型の製作を実施する。	1)作業用模型の製作に必要な器材を準備する。 2)基底面の削除を実施する。 3)台付けを工夫する。
3 4	4/11	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット3:作業用模型製作(3) 分割・トリミング ユニット4:作業用模型製作(4) 咬合器装着 (技国 2-F~H) GIO:陶材焼付金属冠の製作法を修得するために、分割・トリミングを実施する。生体との位置関係を再現するために、咬合器装着を実施する。	1)分割・トリミングに必要な器材を準備する。 2)分割を実施する。 3)トリミングを実施する。 4)咬合器装着に必要な器材を準備する。 5)咬合器装着を実施する。
5 6	4/18	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット5:陶材焼付金属冠1 ワックスパターン形成 ユニット6:陶材焼付金属冠2 ワックスパターン形成 (技国 2-I) GIO:歯冠形態を再現するために、隣在歯を参考にワックスパターン形成を実施する。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)ワックスパターン形成を実施する。
7 8	4/25	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット7:陶材焼付金属冠3 ワックスパターン形成 ユニット8:陶材焼付金属冠4 ワックスパターン形成 (技国 2-I) GIO:歯冠形態を再現するために、隣在歯を参考にワックスパターン形成を実施する。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)ワックスパターン形成を実施する。 3)ワックスパターン形成の仕上げを工夫する。
9 10	5/9	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット9:陶材焼付金属冠5 窓あけ ユニット10:陶材焼付金属冠6 埋没 (技国 2-I, J) GIO:前装部の厚みを確保するために、窓開けを行い、その後に埋没を実施する。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)陶材焼付金属冠の窓開け部分を設計する。 3)ワックスパターン形成の窓開けを実施する。 4)埋没に必要な器材を準備する。 5)ワックスパターンの埋没を実施する。
11 12	5/15	水	雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-15:55)	ユニット11:陶材焼付金属冠7 鑄造・適合調整 ユニット12:陶材焼付金属冠8 研磨・メタル調整 (技国 2-K, M, N) GIO:メタルコーピングを製作するために、高温鑄造と適合調整を実施する。焼付けを確実にするために、メタル調整を実施する。	1)高温鑄造に必要な器材を準備する。 2)高温鑄造を実施する。 3)鑄造体の調整と研磨に必要な器材を準備する。 4)鑄造冠内面の調整を実施する。 5)焼付け面の調整に必要な器材を準備する。 6)メタル調整を実施する。
13 14	5/23	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット13:CAD/CAM1 ク라운のデザイン ユニット14:CAD/CAM2 ク라운のデザイン (技国 2-R) GIO:修復物のデザインを行うために、パソコン操作を実施する。	1)パソコンでク라운のデザインを実施する。 2)パソコンの操作を工夫する。
15 16	5/30	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット15:陶材焼付金属冠9 メタル調整 ユニット16:陶材焼付金属冠10 ディギヤッシング (技国 2-Q) GIO:焼付けを確実にするために、メタル調整とディギヤッシングを実施する。	1)メタル調整を実施する。 2)ディギヤッシングに必要な器材を準備する。 3)ディギヤッシングを実施する。
17 18	6/6	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット17:陶材焼付金属冠11 オペーク陶材 ユニット18:陶材焼付金属冠12 サービカル色陶材 (技国 2-Q) GIO:金属色の遮断をするために、オペーク陶材の築盛を実施する。歯頸部付近の色調を再現するために、サービカル色の築盛を実施する。	1)陶材築盛に必要な器材を準備する。 2)低融陶材の築盛を実施する。 3)オペーク陶材の役割を感じる。 4)真空焼成法を始める。 5)焼成炉による焼成を実施する。 6)サービカル色陶材の役割を感じる。
19 20	6/13	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット19:CAD/CAM3 ク라운の調整 ユニット20:CAD/CAM4 ク라운の仕上げ (技国 2-R) GIO:修復物の適合確認のために調整し、研磨を実施する。	1)形態修正に必要な器材を準備する。 2)形態修正を実施する。 3)研磨に必要な器材を準備する。 4)仕上げ研磨を実施する。 5)製作物を提出する。
21 22	6/20	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット21:レジンジャケットク라운/個歯トレー・個人トレー/歯型可撤式模型(演習) ユニット22:全部金属冠トレーニング(80分) (技国 2-C, B, F, I) GIO:ジャケットク라운の製作法、個歯トレー・個人トレーの製作法、歯型可撤式模型の製作法を理解するために、演習を通して知る。履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠のワックスパターン形成を実施する。	1)ジャケットク라운の特徴を述べる。 2)レジンジャケットク라운の製作方法を説明する。 3)個歯トレー・個人トレーの目的を述べる。 4)個歯トレー・個人トレーの製作手順を説明する。 5)歯型可撤式模型の製作手順を述べる。 6)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 7)歯冠の形態を再現する。 8)咬合関係に留意したワックスパターン形成を実施する。 9)製作物を提出する。
23 24	6/27	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット23:陶材焼付金属冠13 ボディ色陶材 ユニット24:陶材焼付金属冠14 エナメル色陶材 (技国 2-Q) GIO:歯頸部付近と歯冠部(象牙質)の色調を再現するために、ボディ色、エナメル色陶材の築盛を実施する。	1)陶材築盛に必要な器材を準備する。 2)低融陶材の築盛を実施する。 3)ボディ色陶材の役割を感じる。 4)真空焼成法を始める。 5)焼成炉による焼成を実施する。 6)エナメル色陶材の役割を感じる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
25 26	7/11	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット25:陶材焼付金属冠15 エナメル色陶材 ユニット26:陶材焼付金属冠16 形態修正(1) (技国 2-Q, M) GIO:切縁部の色調を再現するために、エナメル色陶材の染盛を実施する。歯冠形態再現のために隣在歯を参考に形態修正を実施する。	1)陶材染盛に必要な器材を準備する。 2)低融陶材の染盛を実施する。 3)エナメル色陶材の役割を感じる。 4)真空焼成法を始める。 5)焼成炉による焼成を実施する。 6)形態修正を実施する。
27 28	7/25	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット27:陶材焼付金属冠17 形態修正(2) ユニット28:陶材焼付金属冠18 グレージング (技国 2-Q, M) GIO:歯冠形態再現のために形態修正を実施する。色調再現のために、グレージングを実施する。	1)彩色の手技を工夫する。 2)大気焼成を実施する。 3)グレージングを実施する。
29 30	8/29	木	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット29:陶材焼付金属冠19 研磨(1) ユニット30:陶材焼付金属冠20 研磨(2)・提出 (技国 2-N) GIO:修復物の仕上げをするために、研磨を実施する。	1)研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 2)修復物の仕上げを実施する。 3)製作物を提出する。

本学期的学習目標（GIO）

歯科理工学における各論分野を理解するために、第1学年で学習した内容をさらに深めると同時に、他の科目の講義や実習で得た歯科材料に関する知識と経験を総合的に修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	金	9:00-10:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科理工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

富田 淳

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果(100%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

練習問題を配付しますので事前に解答し、わからないところを把握してから授業に臨みましょう。
授業で行った学習項目を復習しましょう。

オフィスアワー

日時：講義後15分

場所：短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/5	金	富田 淳	ユニット1:機械的性質 (技国 1-C) GIO: 歯科材料の特性を認識するために、機械的性質の種類と基本を理解する。	1)応力-ひずみ曲線を説明する。 2)種々の試験方法を列挙する。 3)硬さの測定方法を列挙する。
2	4/12	金	富田 淳	ユニット2:物理的性質・化学的性質・生物学的性質 (技国 1-C) GIO: 歯科材料の特性を知るために、物理的・化学的・生物学的性質の種類と基礎を理解する。	1)物理的性質を材料間で比較する。 2)接着の化学的性質を説明する。 3)材料のアレルギー反応を述べる。
3	4/19	金	富田 淳	ユニット3:印象材 (技国 2-A～C) GIO: 歯科臨床で用いられる印象材の性質を知るために、印象材の分類と各種印象材の特徴を理解する。	1)印象材を性質から分類する。 2)寒天印象材とアルジネート印象材をの特徴を述べる。 3)ラバー系印象材の特徴を列記する。
4	4/26	金	富田 淳	ユニット4: 歯科用石膏 (技国 3-A) GIO: 石膏を適切に使用できる知識を修得するために、石膏の種類、用途、性質を理解する。	1)石膏の種類を分類する。 2)石膏の性質を硬化機構から説明する。 3)石膏の混水比を変化させたときの状態を説明する。
5	5/10	金	富田 淳	ユニット5: 歯科用ワックス (技国 4-A) GIO: 適切な歯科技工物製作を実施するために、歯科用ワックスの種類、用途および特性について身につける。	1)ワックスの種類を列記する。 2)ワックスの用途を説明する。 3)ワックスパターンの変形について述べる。
6	5/17	金	富田 淳	ユニット6: 模擬試験1 解答・解説 (技国 1～4) GIO: 前回までの学習内容を身につけるために、模擬試験問題の解説を通して、学習事項について考察する。	1)出題された内容を説明する。 2)前回までの学習内容を具体的に述べる。
7	5/31	金	富田 淳	ユニット7: 歯科用レジン 1 (技国 6-A) GIO: 歯科用レジンの特性を身につけるために、各種レジンの組成と性質を理解する。	1)歯科用レジン进行分类する。 2)加熱重合床用レジンの組成と性質を列記する。 3)常温重合レジンの組成と性質を述べる。
8	6/7	金	富田 淳	ユニット8: 歯科用レジン 2 (技国 6-A) GIO: 歯科用レジンの特性を身につけるために、各種レジンの性質と操作方法を理解する。	1)歯科用レジン进行分类する。 2)加熱重合床用レジンの成形法を説明する。 3)常温重合レジンの成形法を述べる。 4)熱可塑性レジンの性質を説明する。
9	6/14	金	富田 淳	ユニット9: 陶 材 (技国 6-B) GIO: 歯科で用いる陶材の性質を知るために、歯科用陶材の分類と特性を理解する。	1)歯科用陶材の組成と性質を述べる。 2)陶材焼成条件の影響を説明する。 3)焼付け用陶材と金属の要件を列挙する。
10	6/21	金	富田 淳	ユニット10: 金合金 (技国 7-B) GIO: 金合金の特徴を身につけるために、金合金の種類と用途を理解する。	1)歯科用合金の所要性質を述べる。 2)金合金进行分类する。 3)タイプ別金合金の用途を説明する。 4)金合金の熱処理方法を述べる。
11	6/28	金	富田 淳	ユニット11: 金銀パラジウム合金・非貴金属合金 (技国 7-B) GIO: 金銀パラジウム合金と非貴金属合金の特性を知るために、組成と特徴を理解する。	1)金銀パラジウム合金の組成を述べる。 2)金銀パラジウム合金の特徴を述べる。 3)非貴金属合金を列挙する。 4)コバルトクロム合金の特徴を説明する。
12	7/5	金	富田 淳	ユニット12: 模擬試験2 解答・解説 (技国 1～10) GIO: 前回までの学習内容を身につけるために、模擬試験問題の解説を通して、学習事項について考察する。	1)出題された内容を説明する。 2)前回までの学習内容を具体的に述べる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	7/12	金	富田 淳	ユニット13:埋没材 (技国 5-A~C) GIO:適切な鋳造を行うために、埋没材の種類と特性を理解する。	1)埋没材の種類を列挙する。 2)石膏用埋没材の組成を説明する。 3)石膏用埋没材の特徴を述べる。 4)リン酸塩系埋没材の特徴を説明する。
14	7/19	金	富田 淳	ユニット14:精密鋳造 (技国 8-C) GIO:精密な鋳造物の製作を図るために、精密鋳造の操作過程と注意点を理解する。	1)精密鋳造の操作過程を説明する。 2)リングライナーの目的を述べる。 3)金属の融解法を説明する。 4)鋳造に必要な器具器材を列挙する。
15	8/30	金	富田 淳	ユニット15:鋳造欠陥 1 (技国 8-C) GIO:適切な鋳造体を製作するために、鋳造欠陥の種類と原因を知り、その対策について身につける。	1)鋳造欠陥の種類を列挙する。 2)鋳造欠陥の原因を説明する。 3)鋳造欠陥の防止策を述べる。

本学期的学習目標（GIO）

歯とその周囲組織の形態的特徴を理解するために、歯と歯周組織の微細構造と発生に関する基礎的知識を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	金	10:35-11:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

赤間亮一・宇都宮宏充

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果(100%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の教科書の該当する項目と配布資料を事前に熟読し、用語の確認をしておく。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:講義終了後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/5	金	宇都宮宏充	ユニット1-1: 歯の組織 (1) (技国 1-I) GIO: エナメル質の構造に関する基礎的知識を認識するために、エナメル質を構成する微細構造を理解する。歯の内部構造に関する基礎的知識を認識するために、象牙質と歯髄に見られる微細構造を理解する。	1) エナメル質の物理学的特徴を列挙する。 2) エナメル質の構造を述べる。 3) エナメル質の成長線を列記する。 4) エナメル質にみられるものをあげる。 5) 象牙質の物理学的特徴を列挙する。 6) 象牙質の構造を述べる。 7) 象牙質の石灰化について説明する。 8) 象牙質にみられるものをあげる。 9) 歯髄の構造を述べる。 10) 歯髄表層を区分する。
2	4/19	金	宇都宮宏充	ユニット1-2: 歯の組織 (2) (技国 1-I, 2-A~D) GIO: セメント質と歯根膜、歯槽骨と歯肉の構造に関する基礎的知識を認識するために、セメント質と歯根膜、歯槽骨と歯肉に見られる微細構造を理解する。口腔の変化に関する基礎的知識を認識するために、歯や歯周組織の加齢変化を理解する。	1) 歯周組織を区分する。 2) セメント質の構造を説明する。 3) 歯根膜の構造を説明する。 4) 歯槽骨を区分する。 5) 歯槽骨の構造を説明する。 6) 口腔粘膜を区分する。 7) 歯肉を区分する。 8) 歯肉の構造を述べる。 9) 歯の組織の加齢変化を説明する。
3	5/10	金	宇都宮宏充	ユニット2-1: 歯の発生 (1) (技国 1-H) GIO: 顎顔面口腔領域の形態的特徴を認識するために、口腔を中心にその発生の概要を理解する。	1) 個体発生の概略を述べる。 2) 歯胚の成長と形態の変化を述べる。 3) エナメル質の形成を説明する。 4) 象牙質の形成を説明する。 5) 歯髄の形成を説明する。 6) 歯根の形成を説明する。
4	5/17	金	赤間亮一 宇都宮宏充	ユニット3: 模擬試験1 解答・解説 (技国 1-A~L) GIO: 顎顔面口腔領域の解剖学的基礎知識を再認識するために、客観的試験をとおしてその形態的特徴を理解する。	1) 模擬試験問題を分類する。 2) 解答の解説に解剖学的知識を応用する。 3) 解説を具体的に述べる。
5	5/31	金	宇都宮宏充	ユニット2-2: 歯の発生 (2) (技国 1-H, 2-A~D) GIO: 歯周組織の形態的特徴を認識するために、各組織の発生の概要を知り、由来を理解する。	1) 歯周組織の形成を説明する。 2) 歯の各組織を由来別に分類する。 3) 歯の萌出を説明する。
6	6/21	金	赤間亮一	ユニット4: 歯の概説、切歯、犬歯 (技国 1-A~F) GIO: 歯の概説に関する事項の理解度を認識するために、客観的試験をとおして歯の概説に関する知識の確認を実施する。前歯に関する形態学的事項の理解度を認識するために、客観的試験をとおして前歯に関する解剖学的知識の確認を実施する。	1) 練習問題により、歯の概説に関する知識を確認する。 2) 歯の概説に関する解答を説明する。 3) 練習問題により、切歯と犬歯に関する知識を確認する。 4) 切歯と犬歯に関する解答を説明する。
7	7/5	金	赤間亮一 宇都宮宏充	ユニット5: 模擬試験2 解答・解説 (技国 1-A~L, 2-A~D, 3-A~E) GIO: 顎顔面口腔領域の解剖学的基礎知識を再認識するために、客観的試験をとおしてその形態的特徴を理解する。	1) 模擬試験問題を分類する。 2) 解答の解説に解剖学的知識を応用する。 3) 解説を具体的に述べる。
8	8/30	金	宇都宮宏充	ユニット6: 問題集: 頭蓋の骨まとめ (技国 3-A) GIO: 頭蓋の骨に関する形態的特徴の理解度を認識するために、客観的試験をとおして頭蓋骨の解剖学的知識の確認を実施する。	1) 練習問題により、頭蓋骨に関する知識を確認する。 2) 頭蓋骨に関する解答を説明する。

歯及び口腔解剖学実習応用金曜日 10:35~11:55

本学期的学習目標（GIO）

永久歯の歯冠形態を再現するために、上顎中切歯、上顎大臼歯および下顎大臼歯の計測、彫刻を実施する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	金	10:35-11:55	短大 5階 実習室

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

赤間亮一・雲野泰史・宇都宮宏充

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

該当する項目の歯種の特徴を教科書と配布資料を事前に確認をしておく。
配布資料・教科書の該当部分を復習し製作物の評価を受け理解をしましょう。

オフィスアワー

日時:実習後15分 場所:短大1階教員室, 5階実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/12	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット1: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を再現するために、80分で彫刻を実施する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 完成した製作物を提出する。
2	4/26	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット2: 上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、80分で彫刻を実施する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 完成した製作物を提出する。
3	6/7	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット3: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎右側中切歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
4	6/14	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット4: 上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
5	6/28	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット5: 上顎左側中切歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側中切歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎左側中切歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎左側中切歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
6	7/12	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット6: 上顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
7	7/18	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット7: 上顎左側中切歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側中切歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎左側中切歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎左側中切歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
8	7/18	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット8: 上顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
9	7/19	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット9: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎右側中切歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
10	7/26	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット10: 上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
11	7/26	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット11: 下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
12	8/27	火	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット12: 下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	8/27	火	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット13: 下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
14	9/3	火	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット14: 下顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。
15	9/5	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット15: 下顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために、60分で彫刻を実施する。彫刻した形態を確認するために、見本模型との相違を認識する。	1) 彫刻に必要な器具を準備する。 2) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 3) 仕上げ研磨を行う。 4) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を修正する。 5) 完成した製作物を提出する。

本学期的学習目標（GIO）

矯正歯科技工学における基本的概念を理解するために、矯正歯科治療の流れと矯正歯科技工との関連を身につけ、動的矯正装置・静的矯正装置について分類、目的、装置の構成および製作法を理解し実践できるようにする。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	木	9:00-10:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

宇都宮宏充

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

授業範囲に該当する項目を教科書と配布資料を事前に熟読し、用語の確認をしておく。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	5/16	木	宇都宮宏充	ユニット1:模擬試験1解答・解説 (技国 1-A~5-B)	1) 矯正歯科治療の特徴を具体的に述べる. 2) 矯正歯科装置の特徴を具体的に述べる.
				GIO:矯正歯科技工の学習内容を再認識するために, 模擬試験問題の解説をとおして,力を身につける.	
2	7/4	木	宇都宮宏充	ユニット2:模擬試験2解答・解説 (技国 1-A~5-B)	1) 矯正歯科治療の特徴を具体的に述べる. 2) 矯正歯科装置の特徴を具体的に述べる.
				GIO:矯正歯科技工の学習内容を再認識するために, 模擬試験問題の解説をとおして,力を身につける.	

本学期的学習目標(GIO)

生体に調和した、高度な生理的補綴物を製作するために、これまでの授業で得た知識に加え、顎口腔系の機能を総合的に理解する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	木	10:35-11:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

小泉順一

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

顎口腔機能学の履修内容を授業の前に復習して、より理解度を高めていきましょう。

オフィスアワー

日時: 講義後15分 場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	5/16	木	小泉順一	ユニット1:顎口腔機能学 (技国 4～8) GIO:歯科技工学の専門基礎分野を理解するために、顎口腔機能学の知識を修得する。	1)顎口腔機能学の意義, 目的を説明する. 2)顎口腔系の定義を説明する.
2	7/4	木	小泉順一	ユニット2:顎口腔機能学 (技国 4～8) GIO:歯科技工学の専門基礎分野を理解するために、顎口腔機能学の知識を修得する。	1)顎口腔機能学の意義, 目的を説明する. 2)顎口腔系の定義を説明する.

本学期的学習目標（GIO）

小児歯科技工学の基礎的事項と臨床的事項を理解するために、小児歯科診療の流れと、それぞれの咬合誘導装置についての問題を解き、その内容を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	木	13:00-14:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

茂原宏美

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。
教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時：講義後15分

場所：場所：短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	5/16	木	茂原宏美	ユニット1:小児歯科技工学の概説 (技国 1)	1) 小児歯科診療の特色を述べる. 2) 小児歯科技工の特徴を説明する.
				GIO:小児歯科技工学の概要を身につけるために, 小児歯科治療の特色を知り, 乳歯列期永久歯列期の特徴を理解する.	3) 乳歯列期の特徴を記述する. 4) 混合歯列期の特徴を記述する.
2	7/4	木	茂原宏美	ユニット2:乳歯列期と混合歯列期の特徴 (技国 2-A~E)	1) 乳歯列の形態を述べる. 2) 有隙型および閉鎖型歯列弓を説明する.
				GIO:適切な小児歯科技工を行うために, 基礎的知識の一つとして乳歯列期と混合歯列期の特徴について知る.	3) ターミナルプレーンを記述する. 4) 第一大臼歯萌出期の特徴を説明する. 5) 切歯萌出期の特徴を説明する. 6) 側方歯群交換期について述べる.

本学期的学習目標（GIO）

歯科技工士としての業務を適切に遂行し、積極的に法を守る態度を養うために、歯科技工士法、歯科技工士に關係の深い歯科医師法、歯科衛生士法、医療法および衛生行政に関する知識を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士（歯科技工）の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	木	14:35-15:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	第1版	医歯薬出版
医療法制研究会監修	医療政策六法	第2版	中央法規

担当者一覧

茂原宏美

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。
教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時：講義後15分 場所：場所：短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	5/16	木	茂原宏美	ユニット1: 歯科技工士法総説 (技国 2-A) GIO: 歯科技工士法の目的と体系を知るために、 法内における基本用語を正確に理解する。	1) 歯科技工士法の目的を具体的に述べる。 2) 歯科技工の定義を述べる。 3) 歯科技工士の定義を記述する。 4) 歯科技工所の定義を説明する。
2	7/4	木	茂原宏美	ユニット2: 歯科技工士免許と免許取消し (技国 2-B) GIO: 歯科技工士免許と免許取消しについて知る ために、歯科技工士法で定める関係法規条文の 内容を理解する。	1) 免許要件と欠格事由を記述する。 2) 免許の申請を具体的に説明する。 3) 歯科技工士名簿に関する事項を具体的に述べる。 4) 歯科技工士免許証交付などを説明する。 5) 免許取消と再免許に関する事項を説明する。

歯科技工学科 第2学年 後学期授業科目

歯冠修復技工学実習総合	43
歯及び口腔解剖学実習総合	46
顎口腔機能学総合	49
関係法規総合	51
有床義歯技工学総合	53
有床義歯技工学実習総合	56
歯冠修復技工学総合	58
小児歯科技工学総合	61
歯及び口腔解剖学総合	63
歯科理工学総合	65
矯正歯科技工学総合	68
統合歯科技工学実習	70

令和6年度 歯科技工学科 第2学年 後学期授業時間表

時 限	1	2	3	4
時間 曜日	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	歯冠修復技工学実習総合 (雲 野)		歯及び口腔解剖学 実習総合 (赤 間)	
火	顎口腔機能学総合 (小 泉)	関係法規総合 (茂 原)	有床義歯技工学総合 (小 泉)	
水	有床義歯技工学実習総合 (宇都宮)		歯及び口腔解剖学 実習総合 (赤 間)	
木	歯冠修復技工学総合 (雲 野)	小児歯科技工学総合 (茂 原)	歯及び口腔解剖学 総合 (赤 間)	
金	歯科理工学総合 (富 田)	有床義歯技工学総合 (小 泉) ----- 歯冠修復技工学総合 (雲 野)	矯正歯科技工学総合 (宇都宮)	

1) 授業期間：10月 1日 (火) ～ 12月11日 (水)

2) 後学期定期試験：12月12日 (木) ～ 12月13日 (金)

3) 後学期追再試験：12月19日 (木) ～ 12月20日 (金)

*感染症等の拡大状況によってはオンライン授業となる場合があります。

歯冠修復技工学実習総合月曜日 9:00~11:55

本学期的学習目標（GIO）

歯冠修復物に求められる顎口腔系の機能・審美性を回復するために、講義から得た知識に基づき、歯冠修復を再現する技術を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	月	9:00-11:55	短大 5階 実習室

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

雲野泰史・宇都宮宏充

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の内容を事前に把握し、手順について確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時: 実習後15分 場所: 短大5階実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/7	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット1: 全部金属冠トレーニング (80分) (技国 2-I) GIO: 履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠のワックスパターン形成を実施する。修復物の仕上げをするために、研磨を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 歯冠の形態を再現する。 3) 咬合関係に留意したワックスパターン形成を工夫する。 4) 研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 5) 修復物の仕上げを実施する。 6) 製作物を提出する。
2	10/7	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット2: 歯冠外形の描記 (上顎右側中切歯) (技国 1-E) GIO: 歯冠形態を把握するために、線画を用いて描記する技術を身につける。	1) 線画に必要な器材を準備する。 2) 確実な歯冠外形の描記を実施する。 3) 製作物を提出する。
3	10/21	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット3: 全部金属冠トレーニング (80分) (技国 2-I) GIO: 履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠のワックスパターン形成を実施する。修復物の仕上げをするために、研磨を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 歯冠の形態を再現する。 3) 咬合関係に留意したワックスパターン形成を工夫する。 4) 研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 5) 修復物の仕上げを実施する。 6) 製作物を提出する。
4	10/21	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット4: 歯冠外形の描記 (上顎右側第一大臼歯) (技国 1-E) GIO: 歯冠形態を把握するために、線画を用いて描記する技術を身につける。	1) 線画に必要な器材を準備する。 2) 確実な歯冠外形の描記を実施する。 3) 製作物を提出する。
5	10/23	水	雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット5: 全部金属冠トレーニング (60分) (技国 2-I) GIO: 履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠のワックスパターン形成を実施する。修復物の仕上げをするために、研磨を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 歯冠の形態を再現する。 3) 咬合関係に留意したワックスパターン形成を工夫する。 4) 研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 5) 修復物の仕上げを実施する。 6) 製作物を提出する。
6	10/23	水	雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット6: 歯冠外形の描記 (下顎右側第一大臼歯) (技国 1-E) GIO: 歯冠形態を把握するために、線画を用いて描記する技術を身につける。	1) 線画に必要な器材を準備する。 2) 確実な歯冠外形の描記を実施する。 3) 製作物を提出する。
7	11/1	金	雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット7: 全部金属冠トレーニング (60分) (技国 2-I) GIO: 履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠のワックスパターン形成を実施する。修復物の仕上げをするために、研磨を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 歯冠の形態を再現する。 3) 咬合関係に留意したワックスパターン形成を工夫する。 4) 研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 5) 修復物の仕上げを実施する。 6) 製作物を提出する。
8	11/1	金	雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット8: 歯冠外形の描記 (上顎右側犬歯) (技国 1-E) GIO: 歯冠形態を把握するために、線画を用いて描記する技術を身につける。	1) 線画に必要な器材を準備する。 2) 確実な歯冠外形の描記を実施する。 3) 製作物を提出する。
9	11/11	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット9: 全部金属冠トレーニング (60分) (技国 2-I) GIO: 履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠のワックスパターン形成を実施する。修復物の仕上げをするために、研磨を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 歯冠の形態を再現する。 3) 咬合関係に留意したワックスパターン形成を工夫する。 4) 研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 5) 修復物の仕上げを実施する。 6) 製作物を提出する。
10	11/11	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット10: 歯冠外形の描記 (上顎右側第一小臼歯) (技国 1-E) GIO: 歯冠形態を把握するために、線画を用いて描記する技術を身につける。	1) 線画に必要な器材を準備する。 2) 確実な歯冠外形の描記を実施する。 3) 製作物を提出する。
11	11/18	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット11: 全部金属冠トレーニング (60分) (技国 2-I) GIO: 履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠のワックスパターン形成を実施する。修復物の仕上げをするために、研磨を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 歯冠の形態を再現する。 3) 咬合関係に留意したワックスパターン形成を工夫する。 4) 研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 5) 修復物の仕上げを実施する。 6) 製作物を提出する。
12	11/18	月	雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット12: 歯冠外形の描記 (下顎右側第一小臼歯) (技国 1-E) GIO: 歯冠形態を把握するために、線画を用いて描記する技術を身につける。	1) 線画に必要な器材を準備する。 2) 確実な歯冠外形の描記を実施する。 3) 製作物を提出する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	11/21	水	雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット13:全部金属冠用作業用模型製作 (技国 2-F, G) GIO:ワックスパターン形成のために, 全部金属冠 用の作業用模型製作を実施する。	1)作業用模型製作に必要な器材を準備する。 2)噛み合わせを再現する。 3)咬合関係に留意した装着を工夫する。 4)製作物を提出する。
14	11/21	水	雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット14:歯冠外形の描記(下顎右側第二小臼歯 (技国 1-E) GIO:歯冠形態を把握するために, 線画を用いて 描記する技術を身につける。	1)線画に必要な器材を準備する。 2)確実な歯冠外形の描記を実施する。 3)製作物を提出する。
15	11/25	月	雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット15:全部金属冠トレーニング(60分) (技国 2-I) GIO:履修した手技のレベルアップのために, 全部 金属冠のワックスパターン形成を実施する.修復物 の仕上げをするために, 研磨を実施する。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)歯冠の形態を再現する。 3)咬合関係に留意したワックスパターン形成を工夫する。 4)研磨・仕上げに必要な器材を準備する。 5)修復物の仕上げを実施する。 6)製作物を提出する。

歯及び口腔解剖学実習総合

月曜日
水曜日

13:00~14:20

本学期的学習目標（GIO）
永久歯の歯冠形態を再現するために、上顎前歯、上下顎臼歯の計測、スケッチ、彫刻を実施する。人体解剖学実習献体の観察から顎顔面口腔領域を構成する骨、筋、脈管、消化、呼吸、神経系諸器官の形態を認識し、器官相互の関連性を3次的に理解する。

学習成果
ディプロマポリシー
本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。
○ 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
カリキュラムポリシー
○ 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
○ 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	月・水	13:00-14:20	短大 5階 実習室

教科書・参考書			
著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧
赤間亮一・雲野泰史・宇都宮宏充・春原正隆・井出吉昭

成績評価
態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）
授業範囲に該当する項目を教科書と配布資料を事前に熟読し、用語の確認をしておく。 配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー
日時:実習後15分 場所:短大1階教員室、5階実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/2	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット1: 上顎右側中切歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯のスケッチを実施する。 3) 上顎右側中切歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
2	10/7	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット2: 上顎左側中切歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側中切歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側中切歯のスケッチを実施する。 3) 上顎左側中切歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
3	10/9	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット3: 下顎左側第一大臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎左側第一大臼歯のスケッチを実施する。 3) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
4	10/16	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット4: 上顎右側第一大臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯のスケッチを実施する。 3) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
5	10/21	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット5: 上顎左側第一大臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側第一大臼歯のスケッチを実施する。 3) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
6	10/23	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット6: 下顎右側第一大臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎右側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯のスケッチを実施する。 3) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
7	10/30	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット7: 下顎左側第一大臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎左側第一大臼歯のスケッチを実施する。 3) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
8	11/1	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット8: 上顎左側第一大臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側第一大臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側第一大臼歯のスケッチを実施する。 3) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
9	11/6	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット9: 上顎右側犬歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側犬歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側犬歯のスケッチを実施する。 3) 上顎右側犬歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
10	11/11	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット10: 上顎左側犬歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側犬歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側犬歯のスケッチを実施する。 3) 上顎左側犬歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
11	11/13	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット11: 上顎右側小臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎右側小臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側第一小臼歯のスケッチを実施する。 3) 上顎右側第一小臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。
12	11/18	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット12: 上顎左側小臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 上顎左側小臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側第一小臼歯のスケッチを実施する。 3) 上顎左側第一小臼歯の彫刻を実施する。 4) 完成した製作物を提出する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	11/20	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット13: 下顎右側小臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎右側小臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する.	1) 彫刻用器具を準備する. 2) 下顎右側第一小臼歯のスケッチを実施する. 3) 下顎右側第一小臼歯の彫刻を実施する. 4) 完成した製作物を提出する.
14	11/21	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット14: 下顎左側小臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎左側小臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する.	1) 彫刻用器具を準備する. 2) 下顎左側第一小臼歯のスケッチを実施する. 3) 下顎左側第一小臼歯の彫刻を実施する. 4) 完成した製作物を提出する.
15	11/25	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充	ユニット15: 下顎右側小臼歯のスケッチ, 歯冠彫刻 (技国 1) GIO: 下顎右側小臼歯の歯冠形態を再現するために, スケッチと彫刻を実施する.	1) 彫刻用器具を準備する. 2) 下顎右側第二小臼歯のスケッチを実施する. 3) 下顎右側第二小臼歯の彫刻を実施する. 4) 完成した製作物を提出する.
16	12/9	月	春原正隆 井出吉昭 赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット16-1: 人体解剖学実習見学ガイダンス GIO: 人体解剖学実習献体の見学の開始にあたり, 献体の理念と意義, 医の倫理について理解する.	1) 献体の理念を説明する. 2) 献体の意義を述べる. 3) 医の倫理について述べる.
17	12/9	月	春原正隆 井出吉昭 赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット16-2: 人体解剖学実習見学 GIO: 人体解剖学実習献体の観察から顎顔面口腔領域を構成する骨, 筋, 脈管系諸器官の形態を認識し, 器官相互の関連性を3次的に理解する.	1) 頭蓋骨と頭頸部諸器官との関連性を調べる. 2) 顎関節の構造を調べる. 3) 表情筋, 咀嚼筋, 舌骨上・下筋の位置と走行を調べる. 4) 外頸動脈, 内頸動脈の枝の走行と頭頸部のリンパ節の分布を調べる. 5) 鼻腔, 副鼻腔, 咽頭部諸器官の形態を調べる.

本学期的学習目標(GIO)

生体に調和した、高度な生理的補綴物を製作するために、これまでの授業で得た知識に加え、顎口腔系の機能を総合的に理解する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	火	9:00-10:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

小泉順一

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

顎口腔機能学の履修内容を授業の前に復習して、より理解度を高めていきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
3	10/1	火	小泉順一	ユニット3:顎口腔系の形態 (技国 3-A, B) GIO:顎口腔系の形態を理解するために, 顎口腔機能学の学習内容を整理する.	1)顎口腔系を構成する骨・筋について述べる. 2)顎関節の構造について述べる. 3)顎口腔系の神経支配・機能を説明する.
4	10/8	火	小泉順一	ユニット4:顎口腔系の機能 (技国 4-A~I) GIO:顎口腔系の機能を理解するために, 顎口腔機能学の学習内容を整理する.	1)下顎運動の表現方法を述べ, 説明する. 2)下顎運動の特殊性を説明する. 3)下顎運動と解剖学的構造の関係を説明する.
5	10/15	火	小泉順一	ユニット5:下顎位 (技国 6-A) GIO:下顎位を理解するために, 下顎位や下顎運動の基本位置を整理する.	1)下顎の位置の表現方法を述べる. 2)下顎の位置の名称を説明する. 3)下顎の運動範囲を説明する.
6	10/22	火	小泉順一	ユニット6:下顎運動 (技国 6-B) GIO:下顎運動を理解するために, 下顎位と下顎運動の用語を整理する.	1)下顎の位置の限界を述べる. 2)下顎の運動範囲を説明する. 3)各種の機能運動と限界運動の関係を知る.
7	11/5	火	小泉順一	ユニット7:歯の接触様式 (技国 6-C) GIO:歯列の位置関係と顎運動の関連を認識するために, 咬合接触と咬合様式を理解する.	1)咬合関係とは何かを説明する. 2)咬合様式を分類する. 3)顎機能と咬合を関係付ける. 4)側方運動と咬合様式を関係付ける. 5)各咬合様式の特徴を列記する.
8	11/12	火	小泉順一	ユニット8:咬合器 (技国 7-A~C) GIO:下顎運動を再現する装置としての咬合器について理解するために, 構造と機能を整理する.	1)咬合器の使用目的を説明する. 2)咬合器を分類する. 3)下顎運動を模倣する意義を説明する. 4)咬合器と修復物の関係を説明する.
9	11/19	火	小泉順一	ユニット9:下顎運動の記録 (技国 6-B) GIO:調節性咬合器の取り扱いを理解するために, 下顎運動の記録と再現法について整理する.	1)下顎運動の記録方法を分類する. 2)下顎運動の再現性を説明する. 3)下顎運動の記録と再現性を関係付ける. 4)下顎運動再現の意義を説明する.
10	11/26	火	小泉順一	ユニット10:顎口腔機能学のまとめ1 (技国 3~8) GIO:顎口腔機能学の臨床的意義を理解するために, 知識を整理する.	1)顎口腔機能学の意義と目的について説明できる. 2)顎口腔機能学の技工上の応用を説明できる.
11	12/3	火	小泉順一	ユニット11:顎口腔機能学のまとめ2 (技国 3~8) GIO:顎口腔機能学の臨床的意義を理解するために, 知識を整理する.	1)顎口腔機能学の意義と目的について説明できる. 2)顎口腔機能学の技工上の応用を説明できる.

本学期的学習目標（GIO）

歯科技工士としての業務を適切に遂行し、積極的に法を守る態度を養うために、歯科技工士法、歯科技工士に關係の深い歯科医師法、歯科衛生士法、医療法および衛生行政に関する知識を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	火	10:35-11:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	第1版	医歯薬出版
医療法制研究会監修	医療政策六法	第2版	中央法規

担当者一覧

茂原宏美

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。
教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
3	10/1	火	茂原宏美	ユニット3: 歯科技工士法総説 (技国 2-A) GIO: 歯科技工士法の目的と体系を知るために、 法内における基本用語を正確に理解する。	1) 歯科技工士法の目的を具体的に述べる。 2) 歯科技工の定義を述べる。 3) 歯科技工士の定義を記述する。 4) 歯科技工所の定義を説明する。
4	10/8	火	茂原宏美	ユニット4: 歯科技工士免許 (技国 2-B) GIO: 歯科技工士免許について知るために、歯科 技工士法で定める関係法規条文の内容を理解す る。	1) 免許要件と欠格事由を記述する。 2) 免許の申請を具体的に説明する。 3) 歯科技工士名簿に関する事項を具体的に述べる。 4) 歯科技工士免許証交付などを説明する。
5	10/15	火	茂原宏美	ユニット5: 免許取消し、業務従事者届 (技国 2-B, D) GIO: 免許取消し事由を知るために、具体的な業 務範囲と業務従事者届の制度を理解する。	1) 免許取消と再免許に関する事項を説明する。 2) 業務停止命令を説明する。 3) 聴聞と弁明の機会の付与を説明する。 4) 業務従事者届の記載事項を述べる。
6	10/22	火	茂原宏美	ユニット6: 歯科技工士試験と歯科技工業務 (技国 2-C, D) GIO: 歯科技工士試験の目的を知るために、試験 の趣旨を理解する。また、歯科技工指示書につい て知るために、記載事項や保存義務を理解する。	1) 歯科技工士試験の目的を述べる。 2) 歯科技工士の禁止行為(業務独占)を説明する。 3) 業務上の注意(業務範囲)を列記する。 4) 歯科技工指示書の記載事項と保存を説明する。
7	11/5	火	茂原宏美	ユニット7: 歯科技工所、歯科技工士法の罰則 (技国 2-E, F) GIO: 歯科技工所の諸届と管理者の義務を知るた めに、関係条文の内容を理解する。違反行為と罰 則等について知るために、歯科技工関係の申請・ 届出等を総合的に理解する。	1) 歯科技工所の開設届を説明する。 2) 管理者の業務を述べる。 3) 歯科技工所の取締監督上での行政処分を説明する。 4) 広告制限を列記する。 5) 歯科技工士法の罰則と附則について述べる。 6) 申請・届出の提出先と期限を具体的に記述する。
8	11/12	火	茂原宏美	ユニット8: 歯科技工管理 (技国 3) GIO: 歯科技工所の環境や製作された補綴物の品 質管理を知るために、トレーサビリティについて理 解する。	1) トレーサビリティを説明する。 2) 品質管理を述べる。 3) 感染予防を述べる。
9	11/26	火	茂原宏美 (13:00-14:20)	ユニット9: 歯科医師法、歯科衛生士法 (技国 4-C) GIO: 歯科医師・歯科衛生士の業務を知るために、 歯科医師法や歯科衛生士法を理解する。	1) 歯科医師法を説明する。 2) 歯科衛生士法を説明する。 3) 歯科技工士と対比した相違点について記述する。
10	11/29	金	茂原宏美 (10:35-11:55)	ユニット10: 衛生行政、歯科技工 (技国 4-A) GIO: 歯科技工士の役割や倫理を知るために、衛 生行政の内容を理解する。	1) 衛生行政の内容を説明する。 2) 歯科技工士の役割を説明する。 3) 歯科技工士の倫理を説明する。
11	12/3	火	茂原宏美 (13:00-14:20)	ユニット11: 医療法、医薬品医療機器等法 (技国 4-B, D) GIO: 歯科技工士に関係の深い法律を知るため に、医療法や医薬品、医療機器等、有効性及び 安全性の確保等に関する法律の内容を理解する。	1) 医療法の内容を説明する。 2) 医薬品医療機器等法の内容を説明する。

本学期的学習目標(GIO)

歯の喪失によって失われた咀嚼系の形態と機能の回復を理解するために、全部床義歯による補綴治療、部分床義歯による補綴治療の臨床術式と技工操作に必要な基本的な知識を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	火	13:00-14:20	短大 5階 502講堂
2	後	金	10:35-11:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

小泉順一

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

有床義歯技工学応用の履修内容を授業の前に復習して、より理解度を高めていきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/1	火	小泉順一	ユニット1: 前学期試験 解答・解説 (技国 1～5) GIO: 前学期試験の解答と解説を通し、履修内容を再確認する。	1) 解答と解説を通し、学力を向上させる。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
2	10/4	金	小泉順一	ユニット2: 問題集⑭サベイングと技工操作 (技国 3～G) GIO: サベイングと技工操作を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1) 問題集を使用し、履修内容を分類する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
3	10/8	火	小泉順一	ユニット3: 問題集⑮部分床義歯の人工歯排列 (技国 3～J) GIO: 部分床義歯の人工歯排列を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1) 問題集を使用し、履修内容を分類する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
4	10/15	火	小泉順一	ユニット4: 問題集⑯部分床義歯の埋没 (技国 3～L) GIO: 部分床義歯の埋没を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1) 問題集を使用し、履修内容を分類する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
5	10/18	金	小泉順一	ユニット5: 問題集⑰部分床義歯の研磨と修理 (技国 3～O, 4～B) GIO: 部分床義歯の研磨と修理を理解するために、問題集の該当部分を修得する。	1) 問題集を通し、履修内容について理解する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
6	10/22	火	小泉順一	ユニット6: 問題集⑱金属床義歯, その他 (技国 5～A～D) GIO: 問題集を解き、理解する。	1) 問題集を通し、履修内容について理解する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
7	11/5	火	小泉順一	ユニット7: 模擬試験3 解答・解説 (技国 1～5) GIO: 有床義歯技工学の履修内容を理解するために、模擬試験3の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1) 模擬試験3を使用し、履修内容を分類する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
8	11/8	金	小泉順一	ユニット8: 練習問題① (技国 1～5) GIO: 有床義歯技工学の履修内容を理解するために、平成24年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1) 国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
9	11/12	火	小泉順一	ユニット9: 練習問題② (技国 1～5) GIO: 有床義歯技工学の履修内容を理解するために、平成25年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1) 国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
10	11/19	火	小泉順一	ユニット10: 練習問題③ (技国 1～5) GIO: 有床義歯技工学の履修内容を理解するために、平成26年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1) 国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
11	11/22	金	小泉順一	ユニット11: 練習問題④ (技国 1～5) GIO: 有床義歯技工学の履修内容を理解するために、平成27年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1) 国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。
12	11/27	水	小泉順一 (13:00-14:20)	ユニット12: 練習問題⑤ (技国 1～5) GIO: 有床義歯技工学の履修内容を理解するために、平成28年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1) 国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2) 誤った箇所について具体的に述べる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	11/28	木	小泉順一 (13:00-14:20)	ユニット13:練習問題⑥ (技国 1～5) GIO:有床義歯技工学の履修内容を理解するために、平成29年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1)国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
14	12/6	金	小泉順一 (13:00-14:20)	ユニット14:練習問題⑦ (技国 1～5) GIO:有床義歯技工学の履修内容を理解するために、平成30年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1)国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。
15	12/10	火	小泉順一 (10:35-11:55)	ユニット15:練習問題⑧ (技国 1～5) GIO:有床義歯技工学の履修内容を理解するために、令和元年度歯科技工士国家試験の解答・解説を聞き、確実な力を身につける。	1)国家試験過去問を通し、全項目を履修する。 2)誤った箇所について具体的に述べる。

有床義歯技工学実習総合 水曜日 9:00~11:55

本学期的学習目標（GIO）

失われた諸機能と顔貌を回復し、患者の健康を維持、増進するために、少数歯から多数歯にわたる欠損状態を、全部床義歯・部分床義歯の製作を通して習得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士（歯科技工）の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	水	9:00-11:55	短大 5階 実習室

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

宇都宮宏充・雲野泰史

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の内容を事前に把握し、手順について確認しておきましょう。

オフィスアワー

日時: 実習後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 2	10/2	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット1: 全部床義歯人工歯排列④100分 ユニット2: 人工歯排列チェック・修正 (技国 2-H) GIO: 規定された時間の中で人工歯排列を終了するために、段階的にその技術を修得する。 また、未完成の部分を修正し、理解する。	1) 規定時間で人工歯排列を終了する。 2) チェック項目について比較する。 3) 排列修正を実施する。
3 4	10/9	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット3: 歯肉形成 ユニット4: 歯肉形成チェック・修正 (技国 2-I) GIO: 審美性を考慮した歯肉の形態を理解するために、歯肉形成を実施する。	1) 前歯部の歯肉形成を実施する。 2) 臼歯部の歯肉形成を実施する。 3) 適正な豊隆について知る。
5 6	10/16	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット5: 全部床義歯人工歯排列⑤90分 ユニット6: 人工歯排列チェック・修正 (技国 2-H) GIO: 規定された時間の中で人工歯排列を終了するために、段階的にその技術を修得する。 また、未完成の部分を修正し、理解する。	1) 規定時間で人工歯排列を終了する。 2) チェック項目について比較する。 3) 排列修正を実施する。
7 8	10/30	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット7: 歯肉形成90分 ユニット8: 歯肉形成チェック・咬合器装着 (技国 2-I) GIO: 審美性と機能性を考慮した歯肉の形態を理解するために、歯肉形成を実施する。	1) 前歯部の歯肉形成を実施する。 2) 臼歯部の歯肉形成を実施する。 3) 適正な豊隆について説明する。
9 10	11/6	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット9: 人工歯排列・歯肉形成⑥150分 (技国 2-H) GIO: 規定時間内に終了するために、人工歯排列・歯肉形成を実施する。	1) 規定時間で人工歯排列と歯肉形成を終了する。 2) チェック項目について比較する。
11 12	11/13	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット10: 人工歯排列・歯肉形成の修正 (技国 2-I) GIO: 人工歯排列・歯肉形成が終了した全部床義歯を、適切な形態にするために、修正を実施し、完成体をイメージできる知識を修得する。	1) 人工歯排列と歯肉形成の修正を実施する。 2) 適切な人工歯排列について知る。 3) 適切な歯肉形成について知る。
13 14	11/20	水	宇都宮宏充 雲野泰史	ユニット11: 人工歯排列・歯肉形成⑦150分 (技国 2-H) GIO: 規定時間内に終了するために、人工歯排列・歯肉形成を実施する。	1) 規定時間で人工歯排列と歯肉形成を終了する。 2) チェック項目について比較する。
15	11/25	月	宇都宮宏充 雲野泰史 (10:35-11:55)	ユニット12: 人工歯排列・歯肉形成の修正 (技国 2-I) GIO: 人工歯排列・歯肉形成が終了した全部床義歯を、適切な形態にするために、修正を実施し、完成体をイメージできる知識を修得する。	1) 人工歯排列と歯肉形成の修正を実施する。 2) 適切な人工歯排列について知る。 3) 適切な歯肉形成について知る。

本学期的学習目標（GIO）

歯冠や歯の欠損を回復するために、歯冠修復技工学の基礎的事項と臨床的事項を理解する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	木	9:00-10:20	短大 5階 502講堂
		金	10:35-11:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

雲野泰史

成績評価

定期・追再試験それぞれの評価は、択一選択式試験問題の正答率に基づくものとする(100%)。

準備学習（予習・復習）

項目ごとの資料と練習問題を配付しますので、内容の確認と問題を解いて理解し、キーワードを覚えるようにしましょう。授業で行った学習項目を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/3	木	雲野泰史	ユニット1:前学期試験 解答・解説 (技国 1～3) GIO:前回までの学習内容を身につけるために、 履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1)前回までの学習内容を具体的に述べる。
2	10/10	木	雲野泰史	ユニット2:ブリッジ(1) (技国 1-D, E) GIO:ブリッジの概要、特徴、構成要素、種類を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を知る。	1)ブリッジの概要を説明する。 2)ブリッジの特徴を説明する。 3)ブリッジの構成要素を説明する。 4)ブリッジの種類を述べる。
3	10/11	金	雲野泰史	ユニット3:ブリッジ(2) (技国 1-D, E) GIO:ブリッジの支台装置とボンテックを理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1)支台装置の種類を列挙する。 2)支台装置の適応用途を説明する。 3)ボンテックの要件と構造を述べる。 4)ボンテックの種類と形態を列挙する。 5)ボンテックの適応部位を説明する。
4	10/17	木	雲野泰史	ユニット4:ブリッジ(3) (技国 1-D, E) GIO:ブリッジの連結部を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1)連結法の種類、適応、用途を具体的に述べる。 2)連結部の要件を説明する。 3)連結部を含む歯列に与える咬合を列挙する。 4)ブリッジの製作法を具体的に述べる。
5	10/25	金	雲野泰史	ユニット5:陶材焼付金属冠 (技国 1-Q) GIO:陶材焼付金属冠の概要、特徴、製作法を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1)陶材焼付金属冠の概要を説明する。 2)陶材焼付金属冠の特徴を述べる。 3)陶材焼付金属冠の製作法を具体的に述べる。 4)陶材の築盛法を説明する。 5)コンデンスの意義を述べる。 6)陶材の焼成を説明する。
6	10/31	木	雲野泰史	ユニット6:模擬試験3 解答・解説 (技国 1～3) GIO:前回までの学習内容を身につけるために、履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1)前回までの学習内容を具体的に述べる。
7	11/7	木	雲野泰史	ユニット7:ジャケットクラウン・ポストクラウン (技国 1-C) GIO:ジャケットクラウンの意義、特徴、適応用途を理解するために、履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1)ジャケットクラウンの意義を説明する。 2)ジャケットクラウンの特徴を列挙する。 3)ジャケットクラウンの適応用途を述べる。 4)ポストクラウンの構成を述べる。
8	11/14	木	雲野泰史	ユニット8:練習問題 (技国 1～3) GIO:歯冠修復技工学の知識を確認するために、練習問題を実施する。	1)練習問題により、歯冠修復技工学の知識を評価する。 2)練習問題に関する解答を説明する。 3)歯冠修復技工学の履修内容を列挙する。
9	11/15	金	雲野泰史	ユニット9:国家試験過去問題1 (技国 1～3) GIO:歯冠修復技工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国試問題により、歯冠修復技工学の知識を評価する。 2)国試問題に関する解答を説明する。 3)歯冠修復技工学の履修内容を列挙する。
10	11/26	火	雲野泰史 (10:35-11:55)	ユニット10:国家試験過去問題2 (技国 1～3) GIO:歯冠修復技工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国試問題により、歯冠修復技工学の知識を評価する。 2)国試問題に関する解答を説明する。 3)歯冠修復技工学の履修内容を列挙する。
11	11/27	水	雲野泰史 (10:35-11:55)	ユニット11:国家試験過去問題3 (技国 1～3) GIO:歯冠修復技工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国試問題により、歯冠修復技工学の知識を評価する。 2)国試問題に関する解答を説明する。 3)歯冠修復技工学の履修内容を列挙する。
12	11/29	金	雲野泰史 (9:00-10:20)	ユニット12:国家試験過去問題4 (技国 1～3) GIO:歯冠修復技工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国試問題により、歯冠修復技工学の知識を評価する。 2)国試問題に関する解答を説明する。 3)歯冠修復技工学の履修内容を列挙する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	12/5	木	雲野泰史 (10:35-11:55)	ユニット13: 外部模擬試験 解答・解説 (技国 1～3) GIO: 外部模擬試験の内容を身につけるために、 履修した内容を見直し、学習の進捗を認識する。	1) 外部模擬試験範囲の項目を具体的に述べる。 2) 外部模擬試験範囲の履修内容を列挙する。
14	12/6	金	雲野泰史	ユニット14: 国家試験過去問題5 (技国 1～3) GIO: 歯冠修復技工学の知識を確認するために、 国家試験過去問題を実施する。	1) 国試問題により、歯冠修復技工学の知識を評価する。 2) 国試問題に関する解答を説明する。 3) 歯冠修復技工学の履修内容を列挙する。
15	12/11	水	雲野泰史 (10:35-11:55)	ユニット15: 国家試験過去問題6 (技国 1～3) GIO: 歯冠修復技工学の知識を確認するために、 国家試験過去問題を実施する。	1) 国試問題により、歯冠修復技工学の知識を評価する。 2) 国試問題に関する解答を説明する。 3) 歯冠修復技工学の履修内容を列挙する。

本学期的学習目標（GIO）

小児歯科技工学の基礎的事項と臨床的事項を理解するために、小児歯科診療の流れと、それぞれの咬合誘導装置についての問題を解き、その内容を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士（歯科技工）の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	木	10:35-11:55	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

茂原宏美

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。
教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時：講義後15分 場所：短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
3	10/3	木	茂原宏美	ユニット3: 歯・顎・顔面の成長発育 (技国 2-A) GIO: 顎・顔面の成長発育を習得するために, 全身・上顎骨・下顎骨の成長発育について理解する.	1) 全身の成長発育を説明する. 2) 小児の年齢評価を説明する. 3) 上顎骨の成長発育を述べる. 4) 下顎骨の成長発育を述べる.
4	10/10	木	茂原宏美	ユニット4: 乳歯列期の特徴 (技国 2-A~D) GIO: 適切な小児歯科技工を行うために, 基礎的知識の一つとして乳歯列期の特徴について知る.	1) 乳歯列の形態を述べる. 2) 生理的歯冠空隙を記述する. 3) 有隙型および閉鎖型歯列弓を説明する. 4) 水平被蓋と垂直被蓋を説明する. 5) ターミナルプレーンを記述する.
5	10/17	木	茂原宏美	ユニット5: 乳歯の形態的特徴と小児の歯冠修復 (技国 2-B, 3) GIO: 適切な小児の歯冠修復を行うために, 乳歯の一般的特徴を知り, 小児の歯冠修復の種類と特徴を身につける.	1) 乳歯の一般的特徴を列記する. 2) 個々の乳歯の特徴を述べる. 3) 小児における歯冠修復の目的を述べる. 4) 小児の歯冠修復の種類を列記する. 5) 乳歯用既製金属冠による修復の特徴を列記する.
6	10/24	木	茂原宏美 (9:00-10:20)	ユニット6: 混合歯列期の特徴 (技国 2-E) GIO: 小児歯科技工を行うために, 基礎的知識の一つとして混合歯列期の特徴について知る.	1) 第一大臼歯萌出期の特徴を説明する. 2) 切歯萌出期の特徴を説明する. 3) 側方歯群交換期について述べる.
7	10/31	木	茂原宏美	ユニット7: 保険装置 (技国 4-A~C) GIO: 保険装置の意義, 目的, 種類を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を認識する.	1) 保険装置の目的を述べる. 2) 保険装置を分類する. 3) クラウンループの目的, 構成, 製作方法を説明する. 4) バンドループの目的, 構成, 製作方法を説明する.
8	11/7	木	茂原宏美	ユニット8: 保険装置 (技国 4-A~C) GIO: 保険装置の意義, 目的, 種類を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を認識する.	1) ディスタルシュアの目的, 構成, 製作方法を説明する. 2) リンガルアーチの目的, 構成, 製作方法を説明する. 3) ナンスのホールディングアーチの構成を説明する. 4) 可撤保険装置の目的, 構成, 製作方法を説明する.
9	11/14	木	茂原宏美	ユニット9: スペースリグーナー (技国 4-D) GIO: スペースリグーナーの意義, 目的, 構成, 特徴を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を認識する.	1) スペースリグーナーの目的を述べる. 2) スペースリグーナーの構成を説明する. 3) スペースリグーナーの製作方法を説明する.
10	11/28	木	茂原宏美 (9:00-10:20)	ユニット10: 口腔習癖除去装置 (技国 4-E) GIO: 口腔習癖除去装置の意義, 目的, 構成, 特徴を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を認識する.	1) 口腔習癖の種類を列記する. 2) 口腔習癖除去装置の目的を述べる. 3) 口腔習癖除去装置の構成を説明する. 4) 口腔習癖除去装置の製作方法を説明する.
11	12/5	木	茂原宏美 (9:00-10:20)	ユニット11: 咬合誘導装置に用いる維持装置 (技国 4-F) GIO: 咬合誘導装置に用いる維持装置の種類, 特徴製作を理解するために, 履修した内容を見直し, 学習の進捗を認識する.	1) 維持装置の種類を列記する. 2) 維持装置の製作方法を説明する. 3) 維持装置の特徴を列挙する.

本学期的学習目標（GIO）

歯と歯周組織の形態的特徴を確認するために、各組織の微細構造と発生に関する基礎的知識を修得する。さらに顎顔面口腔領域を構成する頭蓋、筋、神経、および内臓の形態に関する基礎的知識を確認するために、それぞれの形態とはたらきについての基礎的事項を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

○	補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
	歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
	豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

○	1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
	2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
○	3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
	4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
	5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	木	13:00-14:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

赤間亮一・宇都宮宏充

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果(100%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の教科書の該当する項目と配布資料を事前に熟読し、用語の確認をしておく。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:講義終了後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/4	金	赤間亮一 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット1: 前学期試験 解答・解説 (技国 1-A~3-E) GIO: 顎顔面口腔領域の解剖学的基礎知識を再認識するために、客観的試験をとおしてその形態的特徴を理解する。	1) 前学期試験問題を分類する。 2) 解答の解説に解剖学的知識を応用する。 3) 解説を具体的に述べる。
2	10/10	木	宇都宮宏充	ユニット2: 問題集: 口腔周囲の筋, 口腔, 口蓋, 唾液腺 (技国 3-B~D) GIO: 口腔周囲の筋に関する形態学的事項の理解度を認識するために、客観的試験をとおして口腔周囲の筋に関する解剖学的知識の確認を実施する。口腔, 口蓋, 唾液腺に関する形態学的事項の理解度を認識するために、客観的試験をとおして口腔, 口蓋, 唾液腺に関する解剖学的知識の確認を実施する。	1) 練習問題により、口腔周囲の筋に関する知識を確認する。 2) 口腔周囲の筋に関する解答を説明する。 3) 練習問題により、口腔, 口蓋, 唾液腺に関する知識を確認する。 4) 口腔, 口蓋, 唾液腺に関する解答を説明する。
3	10/17	木	赤間亮一	ユニット3: 問題集: 小臼歯, 大臼歯 (技国 1-F) GIO: 小臼歯と大臼歯に関する形態学的事項の理解度を認識するために、客観的試験をとおして小臼歯と大臼歯に関する解剖学的知識の確認を実施する。	1) 練習問題により、小臼歯と大臼歯に関する知識を確認する。 2) 小臼歯と大臼歯に関する解答を説明する。
4	10/24	木	宇都宮宏充	ユニット4: 問題集: 舌, 歯の発生, 歯の組織 (技国 3-E, 1-H, 1-I) GIO: 舌, 歯の発生, 歯の組織に関する形態学的事項の理解度を認識するために、唾液腺, 舌, 歯の発生, 歯の組織についての練習問題を客観的試験形式で実施する。	1) 練習問題により、舌に関する知識を確認する。 2) 唾液腺と舌に関する解答を説明する。 3) 練習問題により、歯の発生に関する知識を確認する。 4) 練習問題により、歯の組織に関する知識を確認する。 5) 歯の発生と、歯の組織に関する解答を説明する。
5	11/7	木	赤間亮一 宇都宮宏充	ユニット5: 模擬試験3 解答・解説 (技国 1-A~3-E) GIO: 顎顔面口腔領域の解剖学的基礎知識を再認識するために、客観的試験をとおしてその形態的特徴を理解する。	1) 模擬試験問題を分類する。 2) 解答の解説に解剖学的知識を応用する。 3) 解説を具体的に述べる。
6	11/8	金	赤間亮一 (9:00-10:20)	ユニット6: 問題集: 歯の異常, 歯列と咬合 (技国 1-K, 1-L, 1-G) GIO: 歯の異常, 歯列と咬合に関する形態学的事項の理解度を認識するために、歯の異常, 歯列と咬合についての練習問題を客観的試験形式で実施する。	1) 練習問題により、歯の異常に関する知識を確認する。 2) 練習問題により、歯列に関する知識を確認する。 3) 練習問題により、咬合に関する知識を確認する。 4) 歯の異常, 歯列と咬合に関する解答を説明する。
7	11/15	金	宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット7: 問題集: 歯周組織, 歯や歯周組織の加齢現象, 口腔の神経のまとめ (技国 2-A~D) GIO: 歯周組織, 歯や歯周組織の加齢現象, 口腔の神経に関する組織学的事項の理解度を認識するために、歯周組織, 歯や歯周組織の加齢現象, 口腔の神経についての練習問題を客観的試験形式で実施する。	1) 練習問題により、歯周組織に関する知識を確認する。 2) 歯周組織に関する解答を説明する。 3) 練習問題により、加齢現象に関する知識を確認する。 4) 練習問題により、口腔領域の神経に関する知識を確認する。 5) 加齢現象と口腔領域の神経に関する解答を説明する。
8	12/5	木	赤間亮一 宇都宮宏充	ユニット8: 外部模擬試験 解答・解説 (技国 1-A~3-E) GIO: 顎顔面口腔領域の解剖学的基礎知識を再認識するために、客観的試験をとおしてその形態的特徴を理解する。	1) 模擬試験問題を分類する。 2) 解答の解説に解剖学的知識を応用する。 3) 解説を具体的に述べる。
9	12/11	水	宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット9: 国家試験問題 (技国 1-A~3-E) GIO: 顎顔面口腔領域の形態的特徴に関する基礎知識の理解度を認識するために、国家試験問題を使用する。	1) 国家試験問題により、解剖学的知識を確認する。 2) 国家試験問題に関する解答を説明する。

本学期的学習目標（GIO）

歯科理工学の総論的事項と各論的事項を身につけるために、問題を解き、その内容を理解する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- ☐ 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- ☐ 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- ☐ 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- ☐ 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- ☐ 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- ☐ 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- ☐ 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	金	9:00-10:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科理工学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

担当者一覧

富田 淳

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果(100%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

練習問題を配付しますので事前に解答し、わからないところを把握してから授業に臨みましょう。
授業で行った学習項目を復習しましょう。

オフィスアワー

日時：講義後15分

場所：短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/3	木	富田 淳 (13:00-14:20)	ユニット1:前学期試験 解答・解説 1 (技国 1～10) GIO:前学期までの学習内容を身につけるために、前学期試験問題の解説を通して、学習事項について考察する。	1)前学期試験範囲の項目を具体的に述べる。 2)前学期試験範囲の履修内容を列挙する。
2	10/11	金	富田 淳	ユニット2:前学期試験 解答・解説 2 (技国 1～10) GIO:前学期までの学習内容を身につけるために、前学期試験問題の解説を通して、学習事項について考察する。	1)前学期試験範囲の項目を具体的に述べる。 2)前学期試験範囲の履修内容を列挙する。
3	10/18	金	富田 淳	ユニット3:鑄造欠陥 2 (技国 8-C) GIO:適切な鑄造体を製作するために、鑄造欠陥の種類と原因を知り、その対策について身につける。	1)鑄造欠陥の種類を列挙する。 2)鑄造欠陥の原因を説明する。 3)鑄造欠陥の防止策を述べる。
4	10/24	木	富田 淳 (10:35-11:55)	ユニット4:加工硬化・金属の接合・熱処理 (技国 8-C) GIO:金属の成型方法やそれに伴う性質変化を知るために、加工硬化の機構と再結晶軟化について理解する。また、金属の接合方法や、熱処理の種類と操作方法を理解する。	1)加工硬化の機構を説明する。 2)再結晶軟化後の金属の性質を説明する。 3)金属の接合法を列挙する。 4)鋳付けの機序を述べる。 5)硬化熱処理方法を説明する。 6)熱処理できる合金を列挙する。
5	10/25	金	富田 淳	ユニット5:研 磨 (技国 10-A～C) GIO:歯科技工物の仕上げを行うために、研磨材と研磨の能率を理解する。	1)研磨材を分類する。 2)各研磨材の特徴を列記する。 3)研磨の能率に関係する因子について説明する。 4)電解研磨など、種々の研磨方法を列記する。
6	10/31	木	富田 淳 (13:00-14:20)	ユニット6:模擬試験3 解答・解説 (技国 1～10) GIO:前回までの学習内容を身につけるために、模擬試験問題の解説を通して、学習事項について考察する。	1)出題された内容を説明する。 2)前回までの学習内容を具体的に述べる。
7	11/14	木	富田 淳 (13:00-14:20)	ユニット7:審美歯科材料 (技国 6-A, B) GIO:進歩する技工技術に対応するために、審美歯科材料の組成や性質について理解する。	1)審美歯科材料を列挙する。 2)歯冠用硬質レジン組成について述べる。 3)歯冠用硬質レジン成形法を説明する。 4)CAD/CAM用コンポジットレジンの特徴を述べる。 5)加圧成形セラミックスの特徴について説明する。 6)ジルコニアの種類と特徴について述べる。
8	11/19	火	富田 淳 (10:35-11:55)	ユニット8:新しい加工技術 (技国 8-D) GIO:進歩する技工技術に対応するために、審美歯科材料やデジタル技術を理解する。	1)審美歯科材料を列挙する。 2) CAD/CAMシステムを説明する。 3)新しい加工技術について説明する。
9	11/22	金	富田 淳	ユニット9:国家試験過去問題 1 (技国 1～10) GIO:歯科理工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国家試験問題により、歯科理工学の知識を評価する。 2)国家試験問題に関する解答を説明する。 3)歯科理工学の履修内容を列挙する。
10	11/27	水	富田 淳 (9:00-10:20)	ユニット10:国家試験過去問題 2 (技国 1～10) GIO:歯科理工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国家試験問題により、歯科理工学の知識を評価する。 2)国家試験問題に関する解答を説明する。 3)歯科理工学の履修内容を列挙する。
11	11/28	木	富田 淳 (10:35-11:55)	ユニット11:国家試験過去問題 3 (技国 1～10) GIO:歯科理工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国家試験問題により、歯科理工学の知識を評価する。 2)国家試験問題に関する解答を説明する。 3)歯科理工学の履修内容を列挙する。
12	11/29	金	富田 淳 (13:00-14:20)	ユニット12:国家試験過去問題 4 (技国 1～10) GIO:歯科理工学の知識を確認するために、国家試験過去問題を実施する。	1)国家試験問題により、歯科理工学の知識を評価する。 2)国家試験問題に関する解答を説明する。 3)歯科理工学の履修内容を列挙する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	12/6	金	富田 淳	ユニット13:外部模擬試験 解答・解説 (技国 1～10) GIO: 前回までの学習内容を身につけるために, 模擬試験問題の解説を通して, 学習事項につい て考察する.	1)出題された内容を説明する. 2)前回までの学習内容を具体的に述べる.
14	12/10	火	富田 淳 (9:00-10:20)	ユニット14:国家試験過去問題 5 (技国 1～10) GIO: 歯科理工学の知識を確認するために,国家 試験過去問題を実施する.	1)国家試験問題により, 歯科理工学の知識を評価する. 2)国家試験問題に関する解答を説明する. 3)歯科理工学の履修内容を列挙する.
15	12/11	水	富田 淳 (9:00-10:20)	ユニット15:国家試験過去問題 6 (技国 1～10) GIO: 歯科理工学の知識を確認するために,国家 試験過去問題を実施する.	1)国家試験問題により, 歯科理工学の知識を評価する. 2)国家試験問題に関する解答を説明する. 3)歯科理工学の履修内容を列挙する.

本学期的学習目標（GIO）

矯正歯科技工学における基本的概念を理解するために、矯正歯科治療の流れと矯正歯科技工との関連を身につけ、動的矯正装置・静的矯正装置について分類、目的、装置の構成および製作法を理解し実践できるようにする。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	金	13:00-14:20	短大 5階 502講堂

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

宇都宮宏充

成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

授業範囲に該当する項目を教科書と配布資料を事前に熟読し、用語の確認をしておく。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時:講義後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
3	10/4	金	宇都宮宏充	ユニット3: 矯正歯科技工用器械・材料 (技国 3-A~H) GIO: 矯正歯科技工用器械・材料の目的と種類を理解することで、矯正歯科技工に用いられる器具・器材の特徴を認識する。	1) 器械・器具名と材料の種類を列挙できる。 2) 器械・器具名と材料の用途を説明する。
4	10/11	金	宇都宮宏充	ユニット4: 矯正装置の必要条件と分類 (技国 2-A, B) GIO: 矯正装置の必要条件と分類を理解することで、矯正装置の特徴を認識する。	1) 矯正装置の具備すべき要件を説明する。 2) 矯正装置を列記する。
5	10/18	金	宇都宮宏充	ユニット5: 矯正歯科技工の手技 (技国 3-A~H) GIO: 矯正歯科技工の手技を理解することで、線屈曲・自在ろう付けの特徴を認識する。	1) 線屈曲の目的を説明する。 2) 線屈曲の特徴を記述する。 3) 自在ろう付けの目的を説明する。 4) 自在ろう付けの特徴を具体的に述べる。
6	10/25	金	宇都宮宏充	ユニット6: 矯正用口腔模型 (技国 4-A, B) GIO: 矯正用模型の目的と種類を理解することで、各々の矯正用模型の特徴を認識する。	1) 矯正模型を類別する。 2) 平行模型を具体的に説明する。 3) 顎態模型の特徴を記述する。 4) 予測模型の製作方法を具体的に述べる。
7	11/8	金	宇都宮宏充	ユニット7: 舌側弧線装置・顎間固定装置 (技国 5-A) GIO: 舌側弧線装置を理解することで、装置の特徴を身につける。また、舌側弧線装置の構成と製作方法を認識する。さらに顎間固定装置の特徴を認識する。	1) 舌側弧線装置の目的を具体的に述べる。 2) 舌側弧線装置の構成を列記する。 3) 舌側弧線装置の製作方法を述べる。 4) 舌側弧線装置の応用法を述べる。 5) 顎間固定装置の構成を列記する。
8	11/15	金	宇都宮宏充	ユニット8: 機能的矯正装置 (技国 5-A) GIO: 機能的矯正装置を知るために、代表例としてアクチバートル、咬合挙上板、咬合斜面板について目的、装置の構成および製作方法を認識する。	1) アクチバートルの目的、構成、製作法を記述する。 2) バイオネーターの目的、構成、製作法を記述する。 3) 咬合挙上板の目的、構成、製作法を記述する。 4) 咬合斜面板の目的、構成、製作法を述べる。
9	11/22	金	宇都宮宏充	ユニット9: 歯列弓拡大装置・顎外矯正装置 (技国 5-A) GIO: 歯列弓拡大装置の目的と種類を知ために、各々の歯列弓拡大装置の構成を認識し、また顎外固定装置の目的を理解するために、顎外矯正装置の目的と構成を認識する。	1) 歯列弓拡大装置の目的を具体的に述べる。 2) 歯列弓拡大装置の種類を記述する。 3) 可撤式拡大装置の構成を列記する。 4) 固定式拡大装置の構成を記述する。 5) ヘッドギアの目的を具体的に述べる。 6) オトガイ帽装置の目的と構成を説明する。 7) 上顎前方牽引装置の目的と構成を説明する。
10	12/3	火	宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット10: マルチブラケット装置・リップバンパー・フレンケルの装置 (技国 5-A) GIO: マルチブラケット装置の目的を理解するために、ダイレクトボンディング法・インダイレクトボンディング法を知る。またマルチブラケット装置の目的と特徴を認識する。また、リップバンパー・フレンケルの装置の目的を理解するために、特徴を認識する。	1) マルチブラケット装置の目的を記述する。 2) ダイレクトボンディング法を説明する。 3) インダイレクトボンディング法を説明する。 4) リップバンパーの目的とを述べる。 5) リップバンパーの構成を説明する。 6) フレンケルの装置の目的を説明する。
11	12/10	火	宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット11: 保定装置 (技国 5-B) GIO: 動的矯正後の後戻りを防止する目的として、保定装置の種類を挙げ、各々の目的と特徴を認識する。	1) 保定装置を列記する。 2) ホーレーの保定装置の構成と製作方法を述べる。 3) ラップアラウンドリテーナーの構成と特徴を述べる。 4) トゥースポジションナーの構成と製作方法を述べる。 5) スプリングリテーナーの構成と製作方法を述べる。 6) 下顎犬歯間リテーナーの構成と特徴を述べる。

本学期的学習目標（GIO）

より完成度の高い歯科技工物製作の概要を知るために、歯科技工士に必須な技能を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士（歯科技工）の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	月	9:00-14:20	短大 5階 実習室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付資料		

担当者一覧

赤間亮一・雲野泰史・宇都宮宏充

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の内容を事前に把握し、手順について確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時: 実習後15分 場所: 短大5階実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/28	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (9:00-10:20)	ユニット1: 歯科技工実習統合	1)義歯の人工歯の排列を説明する. 2)前後的,側方的調節彎曲を理解する.
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために, 人工歯排列を実施する.	3)正しい咬合状態を理解する. 4)義歯の人工歯の排列を実施する.
2	10/28	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット2: 歯科技工実習統合	1)歯肉形成の目的を説明する.
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために, 歯肉形成を実施する.	2)歯間乳頭の形成について説明する. 3)舌側歯頸線の入れ方を説明する. 4)歯槽部の歯肉形成を実施する.
3	10/28	月	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット3: 歯科技工実習統合	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する.
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために, ワックスパターン形成を実施する.	2)確実な歯冠外形のワックスパターン形成を実施する. 3)製作物を提出する.

歯科技工学科 第2学年 特別授業期科目

統合歯科技工学	75
統合歯科技工学実習	78

令和6年度 歯科技工学科 第2学年 後学期特別授業時間表

時 限 時間 曜日	1	2	3	4
	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)
火	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)
水	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)
木	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)
金	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 (雲 野)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)	統合歯科技工学 実習 (赤 間)

1) 授業期間：1月 8日（水）～ 1月17日（金）

2) 卒業試験：第1回 1月20日（月）

3) 卒業試験：第2回 1月31日（金）

*感染症等の拡大状況によってはオンライン授業となる場合もあります。

本学期的学習目標（GIO）

今まで学習した歯科技工学の専門基礎分野と専門分野をまとめるために、各科目の重要事項について詳細に学び、知識を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	別途掲示	短大 5階 502講堂	

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付資料		

担当者一覧

雲野泰史・赤間亮一・小泉順一・富田 淳・宇都宮宏充・茂原宏美

成績評価

試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の配布資料を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時: 講義後15分 場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	1/8	水	小泉順一 (9:00-10:20)	ユニット1: 顎口腔機能学(1)	1)顎口腔機能学の学習方法を述べる。 2)顎口腔機能学の基礎分野を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門基礎分野である顎口腔機能学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)顎口腔機能学の概要を説明する。 4)顎口腔機能学を統合的に説明する。
2	1/8	水	宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット2: 矯正歯科技工学(1)	1)矯正歯科技工学の学習方法を説明する。 2)矯正歯科技工学の基礎的事項を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門分野である矯正歯科技工学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)矯正歯科技工学の概要を説明する。 4)矯正歯科技工学を統合的に説明する。
3	1/9	木	雲野泰史 (9:00-10:20)	ユニット3: 歯冠修復技工学(1)	1)歯冠修復技工学の概要を説明する。 2)歯冠修復技工学の目的を説明する。
				GIO: 歯科技工学の専門分野である歯冠修復技工学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)歯冠修復技工学の基礎的事項を述べる。 4)歯冠修復技工学を統合的に説明する。
4	1/9	木	富田 淳 (10:35-11:55)	ユニット4: 歯科理工学(1)	1)歯科理工学の概要を説明する。 2)歯科理工学に関する基礎的事項を説明する。
				GIO: 歯科技工学の専門基礎分野である歯科理工学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)歯科理工学を統合的に説明する。
5	1/10	金	茂原宏美 (9:00-10:20)	ユニット5: 小児歯科技工学(1)	1)小児歯科技工学の概要を説明する。 2)小児歯科技工学の基礎的事項を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門分野である小児歯科技工学を理解するために、詳細な知識を習得する。	3)小児歯科技工学を統合的に説明する。
6	1/10	金	赤間亮一 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット6: 歯及び口腔解剖学(1)	1)歯及び口腔解剖学の学習方法を述べる。 2)歯及び口腔解剖学の基礎分野を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門基礎分野である歯及び口腔解剖学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)歯及び口腔解剖学の概要を説明する。 4)歯及び口腔解剖学を統合的に説明する。
7	1/14	火	小泉順一 (9:00-10:20)	ユニット7: 有床義歯技工学(1)	1)有床義歯技工学の概要を説明する。 2)有床義歯技工学の目的を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門分野である、有床義歯技工学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)有床義歯技工学の基礎的事項を列記する。 4)有床義歯技工学を統合的に説明する。
8	1/14	火	茂原宏美 (10:35-11:55)	ユニット8: 関係法規(1)	1)歯科技工士法の定義を説明する。 2)歯科技工士免許の要件を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門基礎分野である歯科技工に対する関係法規を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)歯科技工士試験について述べる。
9	1/15	水	雲野泰史 (9:00-10:20)	ユニット9: 歯冠修復技工学(2)	1)歯冠修復技工学の概要を説明する。 2)歯冠修復技工学の目的を説明する。
				GIO: 歯科技工学の専門分野である歯冠修復技工学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)歯冠修復技工学の基礎的事項を述べる。 4)歯冠修復技工学を統合的に説明する。
10	1/15	水	宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット10: 矯正歯科技工学(2)	1)矯正歯科技工学の学習方法を説明する。 2)矯正歯科技工学の基礎的事項を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門分野である矯正歯科技工学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)矯正歯科技工学の概要を説明する。 4)矯正歯科技工学を統合的に説明する。
11	1/16	木	小泉順一 (9:00-10:20)	ユニット11: 顎口腔機能学(2)	1)顎口腔機能学の学習方法を述べる。 2)顎口腔機能学の基礎分野を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門基礎分野である顎口腔機能学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)顎口腔機能学の概要を説明する。 4)顎口腔機能学を統合的に説明する。
12	1/16	木	赤間亮一 宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット12: 歯及び口腔解剖学(2)	1)歯及び口腔解剖学の学習方法を述べる。 2)歯及び口腔解剖学の基礎分野を述べる。
				GIO: 歯科技工学の専門基礎分野である歯及び口腔解剖学を理解するために、詳細な知識を修得する。	3)歯及び口腔解剖学の概要を説明する。 4)歯及び口腔解剖学を統合的に説明する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	1/17	金	茂原宏美 (9:00-10:20)	ユニット13:小児歯科技工学(2)	1)小児歯科技工学をの概要を説明する. 2)小児歯科技工学の基礎的事項を述べる. 3)小児歯科技工学を統合的に説明する.
				GIO:歯科技工学の専門分野である小児歯科技工学を理解するために、詳細な知識を習得する.	
14	1/17	金	小泉順一 (10:35-11:55)	ユニット14:有床義歯技工学(2)	1)有床義歯技工学の概要を説明する. 2)有床義歯技工学の目的を述べる. 3)有床義歯技工学の基礎的事項を列記する. 4)有床義歯技工学を統合的に説明する.
				GIO:歯科技工学の専門分野である有床義歯技工学を理解するために、詳細な知識を修得する.	
15	1/17	金	富田 淳 (13:00-14:20)	ユニット15:歯科理工学(2)	1)歯科理工学の概要を説明する. 2)歯科理工学に関する基礎的事項を説明する. 3)歯科理工学を統合的に説明する.
				GIO:歯科技工学の専門基礎分野である歯科理工学を理解するために、詳細な知識を修得する.	

統合歯科技工学実習

月曜日～ 13:00～14:20
金曜日 14:35～15:55

本学期的学習目標（GIO）

より完成度の高い歯科技工物製作の概要を知るために、歯科技工士に必須な技能を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士（歯科技工）の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	別途掲示	短大 5階 実習室 他	

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付資料		

担当者一覧

赤間亮一・雲野泰史・宇都宮宏充

成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

授業範囲の内容を事前に把握し、手順について確認しておきましょう。
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

オフィスアワー

日時: 実習後15分 場所: 短大5階実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
4	1/8	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット4: 歯科技工実習統合	1)線画に必要な器材を準備する。 2)各歯の解剖学的特徴を説明する。 3)歯冠外形の見本を観察する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、線画を実施する。	
5	1/8	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (14:35-15:55)	ユニット5: 歯科技工実習統合	1)各歯の解剖学的特徴を説明する。 2)歯冠外形の見本を観察する。 3)歯冠外形の彫刻を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、歯形彫刻を実施する。	
6	1/9	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット6: 歯科技工実習統合	1)ワイヤー屈曲の方法を説明する。 2)マーキング方法を説明する。 3)ワイヤー屈曲を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、ワイヤー屈曲を実施する。	
7	1/9	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (14:35-15:55)	ユニット7: 歯科技工実習統合	1)線画に必要な器材を準備する。 2)各歯の解剖学的特徴を説明する。 3)歯冠外形の見本を観察する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、線画を実施する。	
8	1/10	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット8: 歯科技工実習統合	1)各歯の解剖学的特徴を説明する。 2)歯冠外形の見本を観察する。 3)歯冠外形の彫刻を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、歯形彫刻を実施する。	
9	1/10	金	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (14:35-15:55)	ユニット9: 歯科技工実習統合	1)ワイヤー屈曲の方法を説明する。 2)マーキング方法を説明する。 3)ワイヤー屈曲を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、ワイヤー屈曲を実施する。	
10	1/14	火	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット10: 歯科技工実習統合	1)線画に必要な器材を準備する。 2)各歯の解剖学的特徴を説明する。 3)歯冠外形の見本を観察する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、線画を実施する。	
11	1/14	火	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (14:35-15:55)	ユニット11: 歯科技工実習統合	1)ワイヤー屈曲の方法を説明する。 2)マーキング方法を説明する。 3)ワイヤー屈曲を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、ワイヤー屈曲を実施する。	
12	1/15	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット12: 歯科技工実習統合	1)各歯の解剖学的特徴を説明する。 2)歯冠外形の見本を観察する。 3)歯冠外形の彫刻を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、歯形彫刻を実施する。	
13	1/15	水	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (14:35-15:55)	ユニット13: 歯科技工実習統合	1)ワイヤー屈曲の方法を説明する。 2)マーキング方法を説明する。 3)ワイヤー屈曲を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、ワイヤー屈曲を実施する。	
14	1/16	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (13:00-14:20)	ユニット14: 歯科技工実習統合	1)線画に必要な器材を準備する。 2)各歯の解剖学的特徴を説明する。 3)歯冠外形の見本を観察する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、線画を実施する。	
15	1/16	木	赤間亮一 雲野泰史 宇都宮宏充 (14:35-15:55)	ユニット15: 歯科技工実習統合	1)各歯の解剖学的特徴を説明する。 2)歯冠外形の見本を観察する。 3)歯冠外形の彫刻を実施する。
				GIO: 歯科技工に必要な技能を身につけるために、歯形彫刻を実施する。	

